

平成 27 年 3 月 30 日
温暖化対策統括本部

「横浜市エネルギーアクションプラン（素案）」に対する 市民意見募集の実施結果について

「横浜市エネルギーアクションプラン」の策定にあたり、素案に対して市民意見募集を実施しました。たくさんのご意見をご提出いただきありがとうございました。このたび、実施結果をまとめましたので、公表します。

1 実施概要

実施期間	平成 26 年 12 月 19 日（金）～平成 27 年 1 月 30 日（金）
意見提出方法	郵送、FAX、電子メール、直接持参
素案の公表場所	各区広報相談係、市民情報センター、横浜市温暖化対策統括本部調整課、ホームページ

2 意見提出状況

提出者数	51	
提出方法	郵送 1、F A X 4、電子メール 43、直接持参 3	
意見数	170 件	
項目別意見数	アクションプラン全体に関するご意見	21 件
	第 1 章 エネルギーアクションプランについて	7 件
	第 2 章 本市のエネルギー状況	11 件
	第 3 章 基本的事項	3 件
	第 4 章 主要施策	105 件
	第 5 章 市民・事業者の取組促進	23 件

3 いただいたご意見への対応

包含	ご意見の趣旨が素案に含まれるもの	34 件
反映	ご意見の趣旨を反映し、素案を修正したもの	51 件
賛同	アクションプランの推進に賛同いただいたもの	29 件
参考	ご意見として、今後の参考とするもの	46 件
その他	その他のご意見（プランに対する質問など）	10 件

4 いただいたご意見の概要とご意見に対する本市の考え方 別紙のとおり

「横浜市エネルギーアクションプラン（素案）」に対する
市民意見募集で提出されたご意見とご意見に対する本市の考え方

◇アクションプラン全体に対するご意見

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
1	<p>日本最大の市であり 371 万人市民・11 万事業所を擁する横浜市が持続可能な社会に向けて、エネルギー循環都市づくりとして、市域から生み出すエネルギーを増やし、そのエネルギーを無駄なく効率的に利用するまちづくりに向け、これまでの横浜市地球温暖化対策実行計画におけるエネルギー施策をより一層推進せんと、新たに「横浜市エネルギーアクションプラン」を策定していくことについて、心から歓迎するものです。</p> <p>思い起こせばあの東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の大事故は、横浜市で生活する市民にも大きな衝撃を与えました。農業をはじめとした多くの産業や市民生活も大きな被害を受けました。原発事故は、これまで作られてきた科学技術信仰や大規模集中システムを土台とする電力供給システムへの反省と同時に、私たち市民自身の生活のあり方をも問うものでした。こうした反省をもとに、未来の世代に持続可能な社会を残すためには、エネルギーの大消費市であるわが横浜市においてこそ、「経済活動や生活を見つめ直してエネルギーを大切に社会に転換をしていきたい」、「電力供給の原発依存度を極力減らしていきたい」「もっと再生可能エネルギー導入を積極的にすすめていく課題に中長期的・総合的に取り組む全国自治体をリードする横浜市であって欲しい」「そんな魅力ある横浜市に住み続けたい」。私たちはこうした想いを強</p>	賛同	<p>エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進し、進捗に関する適切な広報を進めてまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>く抱いて暮らしてきました。</p> <p>私たちは、省エネルギーそして再生可能エネルギーを促進し実践を通じて全国自治体をリードしようとする「横浜市エネルギーアクションプラン（素案）」の意欲を受け止め、横浜市民として共に推進する立場であることを表明いたします。</p> <p>なお、取組にあたっては推進を確実なものにするために、数値目標を持ち、単年度ごとに到達状況を共有化し市民や事業者が意欲的に参加できるような工夫をしてください。</p>		
2	<p>この分野での知識が皆無にちかいので、生活者として意見を述べさせていただきます。全93ページにわたる素案は近未来を見据えて大変な労作であると感じました。プランどおりの成果を達成されるよう望みます。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。</p>
3	<p>素案は数値、目標、統計等が個人家庭と事業所に分別されています。個人家庭と事業所とでは、施策もアプローチも異なりますから当然のことでありましょう、しかしながらG30、3R夢オペレーションの8年間の経過に若干のかかわりをもった経験から感じさせられたことでありますが、個人世帯と事業所に併行的に行われているオペレーションであるにもかかわらず、個人世帯の減量に取り組んでいるものにたいしては個人世帯からでる廃棄物の情報のみが与えられ、事業者系の廃棄物への施策や成果等の情報がほとんどありません。諸般の事由から事業者系への踏み込みが浅いのではと思うこともあります。事業所系の努力や成果を160万世帯の市民に知らしめることは、更なる市民の関心と意識</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章などにわかりやすい情報発信をする記載を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>の向上に寄与すると信じます。本案を素としたエネルギーアクションプランの実施や進捗状況や成果についての情報をできる限り市民にしらせていただくように希望します。</p>		
4	<p>発想としては、多々ありますが、学歴が中学校しか行ってなく文章もうまく書けないですが未来型エネルギーは知恵を出して現実にして行く事は大変望ましい事だと思えます。東日本の影響を受けました。原子力依存は反対なので横浜市在住 20 年近くありますが、思想としても歴史としても世界のリーダー的国際都市として発展していく事は大変いい事だと思えます。特に植物の竹を燃料として発電はアジアの熱帯地域では、冬の間は熱源として最良かと思えます。化石燃料 CO2 が多いとい事もあると思えます。水の電気分解で水素が取れるなら温暖化でも地球規模で水位が上昇している事は水素燃料発電も実現化して行く事が望ましいと思っています。作文とかうまくないので素案として興味を持って頂ければ光栄です。</p>	賛同	<p>エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、市民・事業者の皆様と協力して、プランを着実に推進してまいります。</p>
5	<p>全体的に ・複数個所で「廃熱」と「排熱」とが混在しています。廃てられている熱を有効に活用しているという意味で、「廃熱」に統一することを提案します。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、全般的に修正しました。</p>
6	<p>全体的に 「再生可能エネルギー」という記載は、「再生可能エネルギー等」に変更することで、変動する再生可能エネルギーを補完する自立分散型電源（コージェネ）も含む、と読み替えできるため、文脈上、自立分散型電源（コージェネ）も包含する場合は、記載の変更を提案します。</p>	包含	<p>アクションプランでは、再生可能エネルギーとコージェネなどをあわせて再生可能エネルギー「等」と表現しています。いただいたご意見の趣旨は、含まれております。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
7	<p>全体を通読して少し違和感を感じたのは、温暖化対策統括本部とはどんな組織で、どれだけの人材がいるのかということが見えてこないことです。ネット上の組織図で、だいたい見当をつけることはできますが、これだけの多岐にわたる仕事を実際どうやったのか、やっていくのかということが気になるので、せめて個々のプロジェクトの時代ごとの担当者、実働部隊はどこかを記載すべきではないのかなと感じます。例えば、本市は、という記載だけでは、どこに何を問えばいいのか分からないのです。それには私自身の勉強不足ももちろんありますが、所々に「一事業者として」という記載もされていますし、信頼度をあげるためにも、この素案をまとめた責任者、項目ごとの担当も含め、通常の本籍や雑誌のように、奥付をいれることも合わせて提案したいです。</p>	参考	<p>エネルギーアクションプランに掲げる事業は、温暖化対策統括本部を主軸に全庁一丸となって実施していきます。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>内容は大変立派なプランで多岐にわたりエネルギーの問題をとらえていて素晴らしいと思います。実現に向けて市民の協力体制をつくりたいと思います。そこでこのプランをもう少し簡略にした『テキスト』的な小冊子をつくり関係方面へ広く配布されてはいかがでしょうか。(絵、図を多くして)また今回の意見募集はこの資料をは区役所で閲覧用でしかありませんでした。難しいことが多いのですが広く意見を聞く、多くの人に賛同と協力を得るにはこの資料を多く配布されることを望みます。(予算取り)</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第 5 章などにわかりやすく情報発信をする旨の記述を加えました。</p>
9	<p>市の位置づけは中計にあることはわかりませんが、もうひとつ『防災計画』との関連性、つまり防災をベースにすることをもっと強調されてはいかがでしょうか</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第 1 章の策定の意義において、BLCP の視点に関する記述を加えまし</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	か。市の担当部局が違っていると縦割りの組織弊害になりかねません。		た。
10	原発が動いてないので2005年度からみると13%もの増、ということになっているのですがもう原発は考えずに、2012年度をベンチマークにされるようにして、再生可能エネルギーを増やす事のみになってほしいです。原子力、発生する放射能の完全な消去ができるまでやめてほしい。このことをもっとアピールしてもらいたいです。	参考	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
11	市民力、市民・事業者・行政、産・学・官といろいろな言い方ありますが市民の全員がどの組織でも関係あるように思いますので統一された言い方を工夫されてはどうでしょうか。また『HEMS』『BEMS』の他、『FEMS』『CEMS』も同様に一緒に取り上げて説明してほしいです。それぞれ目標設定もしてほしい。	参考	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
12	横浜市の特徴、特質から何を重点に優先させるかを大きく打ち出して市民のコンセンサスを得るように年毎の施策目標をたててみてはと思います。	包含	いただいたご意見の趣旨は、第4章において、施策ごとの工程表として、お示ししております。いただいたご意見をふまえ、プランを着実に推進してまいります。
13	<p><基本的な考え></p> <p>横浜市は、住宅地、商業地、工業地帯と多種・多様な住民や施設を包含しており、エネルギー利用に関しても非常にユニークな取り組みが可能となっている。</p> <p>今回のアクションプランは、実現性において大変期待できる内容ととらえており、今後の展開に注目するとともに、当社の参画可能な分野に関し積極的に取り組んでいきたい。</p>	賛同	ありがとうございます。市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
14	全体として、実際に誰が何をいつどこでどのように実施してゆくのか、具体的なところがよく分かりませんでした。	参考	プランの具体的な推進は、市民・事業者の皆様と連携してすすめて参ります。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
15	文章全体は言葉遣いが平易で具体的でしかも図や表も見やすいので、非常に分かり易く練られていると感じました。構成も適切で、正に日本がこれから目指すべき地域社会のあるべき姿が髣髴とされ立案に関与された皆様方の並々ならぬ熱意と行動の賜物と深く敬意を表します。しかも、日本国内では、かつての糞に懲りたパニック状態から、喉元を過ぎれば・・・という状態にシフトしてきている中で、本市はこのアクションプランで飽くまでも震災の教訓を原点として、災害に強い街、地球全体の将来を見据えた政策の実現を目指すことを宣明していることは、私たち市民としても誇らしい限りであり、各項目の何れもが日本がこれから目指す地域社会のあるべき一つの理想な姿として描かれており、間然するところがありません。	賛同	ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進し、市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。
16	本素案で謳われているように2020年度までに2005年度比で温室効果ガスを16%削減（1,954から1,641万トン-CO ₂ ）する目標を達成するためには、2012年度からすると2,209-1,641=568万トン-CO ₂ の削減となりとなり、2,012年度の総排出量の4分の1強の削減が必要となります。これは、極めて大胆で野心的な数字であり称賛に値すると思いますが、現状の電力会社や政府の施策の内容は、この計画とかなり乖離していることが明確であり、実現には相当	賛同	エネルギーの大消費地である横浜として、高い目標を掲げたところです。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	の困難が予想されます。		
17	<p>マイクログリッドやスマートグリッド構築に関して、極めて限定的な範囲で書きましたが、貴アクションプランのエネルギーの種類に関しては、工場等の排（廃）熱や、下水道の有する熱エネルギー、生ごみや食品廃棄物など有機廃棄物の有するバイオマスエネルギー、小水力発電に関しては記述が限定的で、導入に対しては大きな期待は寄せられているようには見えません。</p> <p>しかし、天候や時間帯に左右されない安定的な電源を確保しなければ、いつまでも電気代などの点で東京電力に牛耳を執られることとなります。従って、これらエネルギーの賦存量を示すとともに、その効果的な利活用法等の検討についても記述がほしいと思います。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
18	<p>横浜市には、太陽光発電などでの余剰電力の買い取りで僅かばかりの利益に甘んずることなく、市民に必要なエネルギーの殆どを自給できる潜在的能力があると思料します。勿論、市内に東京電力の横浜・南横浜火力発電が立地していますので、東電と絶縁することは避けなければなりません。付き合い程度にして基本的には「ゼロエミッションとエネルギー自給の町」を標榜したらいかがでしょうか。ここでいうゼロエミッションとは、系外には廃棄物を一切排出しないことであり、ここでいう「系」とは横浜市を意味します。そのための方策は廃棄物の徹底分別と再利用です。・有機物、生ごみや食物残渣などは家庭か事業者かの排出源を問わずに特別の分別収集をしメタン発酵またはコンポスト化して、ガス発電や熱源として利用するか、肥料</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>として利用します。生ごみのみを分別収集するシステムは現在ごく僅かしかありませんが、それでも珠洲市などは生ごみの分別収集とメタン発酵とエネルギー化を実行しています。その他のエネルギーに関しては、時間もありませんので付言致しませんが、総じて私たちは目の物に目を奪われて他の状況が見えなくなる弊に陥りがちであることに留意する必要があると思います。また、エネルギー自給の町とは、基本的には電力会社の送電網に頼ることなく、地域で必要な電気および熱エネルギーを町内のあらゆる資源を動員して自給することを意味します。</p>		
19	<p>各種取り組みを行う際に、「環境問題の諸分野同士のつながり」について強い意識、伝達を意識すべきだと思っております。</p> <p>例えば、水を使うことは運搬、浄化によりエネルギーや温暖化と関係したり、食材を大切に使ったり食べ残しをしない事が、ごみ発生や水汚染を減らしひいてはエネルギーや温暖化対策に貢献する…。このように、「環境問題は分野ごとに複雑に絡み合っている」という特徴は、裏を返せば「1分野への対処が他の分野への貢献につながる」という事もありこれを念頭に置く事は、様々な人がかかわり、取り組む事を促進する一助になるのではないかと思います。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組を促進するために大切なことに含まれております。いただいた御意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>
20	<p>横浜市にエネルギー基本計画は策定されているのでしょうか。</p> <p>エネルギーの比率をどうされようとしているのですか。</p> <p>温暖化ガス抑制のエネルギーとしては、再生可能エネルギーと原子力発電が</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>あります。</p> <p>再生可能エネルギーを飛躍的に拡大することが、温暖化ガス抑制と原子力発電のリスク(事故による放射能汚染、廃棄物問題)の抑制に寄与すると思えます。再生可能エネルギーの横浜市での急速な拡大に向け施策を実行する必要があります。</p> <p>この立場から、国へエネルギー基本計画における原子力発電の比率を0もしくは最小にするよう申し入れてください。</p>		
21	<p>全体としてプランに中長期の数値目標が乏しく、いわば総論を記載している。従って関係者が、いつまでに何をすべきかが伝わってきません。例えば2050年にどのような社会を目指し、その頃のエネルギーの需給構造をどのようにしたいのか、そのためにいつまでに何をどれくらい改善しなければならないのか、そしてそのために国、企業、市民にどのような協力を求めるのかを明確に示しているとは言い難い。</p>	参考	<p>プランの策定後も関係者に周知し、協力してプランを推進してまいります。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

◇第1章 エネルギーアクションプランについて

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
22	<p>「横浜市エネルギーアクションプラン」及び「みなとみらい2050プロジェクトアクションプラン」は、温対法に基づき横浜市として行なう温暖化対策実行計画の一部（短期計画）と考えられるので、本文中にこれらの関係性をアクションプランの中に明確に明示をするべきである。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第1章などに両プランに関する記載を加えました。</p>
23	<p>はじめに 〔第二段落目より〕 2011年3月の東日本大震災後、エネルギーを取り巻く状況は大きく変化しました。電力需給については厳しい状況が続き、市民や事業者のエネルギーに関する不安と関心は高まっています。エネルギーも実は有限であり・・・ (意見) 「電力需給については厳しい状況が続き」とありますが、現状における東京電力エリア内の需給状況は、需要が東日本大震災前を下回る一方、一定の予備率を見込む供給力にて運用を行えており、安定供給を確保できるものと考えております。 従いまして、現状の電力需給について過度な不安や誤解を与えない表記とすることが適切と考えます。 (修正案) 2011年3月の東日本大震災後、エネルギーを取り巻く状況は大きく変化しました。一時は電力需給については厳しい状況があり、市民や事業者のエネルギーに関する不安と関心は高まりました。エネルギーも実は有限であり・・・</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、「はじめに」の記載を修正しました。</p>
24	<p>P. 1(1) 震災の教訓 2011年3月11日の東日本大震災・東京</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第1章の記載を</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>電力福島第一原子力発電所の事故の直後は、横浜市内でも計画停電が実施されるなど、市民生活に大きな影響がありました。その後も、電力需給がひっ迫する状況は続き、電気料金の引き上げによる市民生活や地域経済への影響も懸念されています。</p> <p>この間、市民・事業者・行政において、電力のピークカットやピークシフトを含め、「節電」が日常的に取り組まれるようになりました。エネルギーを大切に、有効に使おうという取組です。</p> <p>（意見）</p> <p>「電力需給がひっ迫する状況は続き」とありますが、現状における東京電力エリア内の需給状況は、需要が東日本大震災前を下回る一方、一定の予備率を見込む供給力にて運用を行えており、安定供給を確保できるものと考えております。</p> <p>従いまして、現状の電力需給について過度な不安や誤解を与えない表記とすることが適切と考えます。</p> <p>（修正案）</p> <p>2011年3月11日の東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所の事故の直後は、横浜市内でも計画停電が実施されるなど、市民生活に大きな影響がありました。その後も、一時は電力需給については厳しい状況があり、また、電気料金の引き上げによる市民生活や地域経済への影響も懸念されているところです。</p> <p>その後、市民・事業者・行政において、電力のピークカットやピークシフトを含め、「節電」が日常的に取り組まれるようになりました。エネルギーを大切に、有効に使おうという取組です。</p>		<p>修正しました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
25	<p>P. 9（1）横浜市地球温暖化対策実行計画との関係（参考2）○3つ目</p> <p>○原子力発電や化石燃料に過度に依存しない、 地域におけるエネルギーの創出と地産池消の推進</p> <p>地域における再生可能エネルギー・未利用エネルギーの積極的な活用を通じた自立・分散型エネルギーシステムの構築等を行うことで、原子力発電や化石燃料に過度に依存しない低炭素型の地域づくりに取り組む。</p> <p>（意見）</p> <p>「原子力発電や化石燃料に過度に依存しない低炭素型」との記載は、「原子力発電」・「化石燃料」の双方に依存しないことが低炭素型の地域作りにつながることも読み取れますが、原子力発電は発電時にCO₂を排出しない低炭素に資する発電システムであり、誤解を招く可能性が考えられます。</p> <p>ここでは</p> <p>①地域における再生可能エネルギー・未利用エネルギーの積極的な活用を通じた低炭素型の自立・分散型エネルギーシステムの構築等を行う。</p> <p>②自立・分散型エネルギーシステムの構築により原子力発電や化石燃料に過度に依存しない地産池消の地域づくりに取り組む。</p> <p>の上記二点の内容がしっかり表記出来る以下修正案が良いと考えます。</p> <p>（修正案）</p> <p>○原子力発電や化石燃料に過度に依存しない、 地域におけるエネルギーの創出と地産池消の推進</p>	その他	<p>当該記述は、平成26年3月に改定した「横浜市地球温暖化対策実行計画」を引用したものであり、ご意見を反映することは困難です。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	地域における再生可能エネルギー・未利用エネルギーの積極的な活用を通じた低炭素型の自立・分散型エネルギーシステムの構築等を行うことで、原子力発電や化石燃料に過度に依存しない地域づくりに取り組む。		
26	P6 第1章 2項 (1)策定の意義 下から5行目 ・「自立分散型電源の導入や熱の有効利用とは、家庭用の太陽光発電設備、家庭用燃料電池、業務用ビル等におけるコージェネレーションシステムなど、・・・」とありますが、工場等の事業所におけるコージェネ活用が抜けていると思われ ます。「業務用ビル」の後に「工場等の事業所」と追記することを提案します。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。
27	P6 第1章 2項 (1)策定の意義 下から5行目 ・「家庭用の太陽光発電設備、家庭用燃料電池…」に、「太陽熱システム」の追記を提案します。	包含	いただいたご意見の趣旨は、当該記述の前後で表現されているものと考えます。
28	P2 第1章 (2)温暖化の進行 石炭火力からLNG火力発電へ 東日本大震災以降原発がストップしたことにより、各電力会社は既設の古い火力発電所を稼働することにより電力の供給を賄っております。 旧施設はいつ故障等により異常事態が発生するかわからないので燃料費の安価な石炭火力発電所の建設を計画進行しています。世界最高レベルの発電効率とはいえ温室効果ガスは他のLNG等の燃料よりも多く排出します。発電単価は石炭に近いがCO2の排出はより少ないLNG等のガス燃料に切り替えていただくよう、市からも協力にアピールしていただきたい。	参考	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

◇第2章 本市のエネルギー状況

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
29	<p>関係者を幅広く巻き込むためには、</p> <p>① 先ず人口、GDP/人が今後どのような前提の社会づくりを進めるのか。</p> <p>② 温暖化対策の見地から、エネルギー消費/GDP を今後どのように改善すべきか。</p> <p>（過去 25 年程度では、0.8%～1%/年のエネルギー消費/GDP の改善がなされたが、このスピードをどれくらい加速しなければ、目指す社会が達成できないのか。）</p> <p>③ エネルギー消費/GDP の改善策として車、家、家電等のエネルギー効率はどのようにしなければならないのか。</p> <p>④ それらの達成のために、国、市、市民、企業、政治家はどのような行動が必要なのか。</p> <p>このような議論がアクションプランに明確に示されなければならないと思います</p> <p>目標値のないプランは、何ら責任あるアクションを生みません、責任を問われないようにプランを設定するより、失敗しても、そのプロセスが明らかになる方が、横浜市の蓄積になるのではないのでしょうか。</p> <p>国の方針が変わりやすく、市としても将来構想を明言しにくいとは思いますが、環境モデル都市横浜だからこそ、踏み込んだ、アクションプランを発信すべきだと考えます。形ばかりのパブコメではなく、真に将来の社会づくりを市民とともに進める姿勢を示してほしいと思います。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第2章において、目標達成に向けたエネルギーの削減割合の記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
30	<p>11 ページの消費量のデータで見る限り廃棄物の同様に消費エネルギーの抑制に家庭の占める役割の大きさを知ることができます。データは横浜市と全国平均との対比であります。できうれば本市と類似の構成要因を持つ他の自治体との比較が見たかった。まったくの素人目でみても全国平均と本市では消費エネルギーに格段の差異がでるのは容易に予測できることではないでしょうか。特に運輸部門における自家用車のエネルギー消費量がその他の運輸のそれを上回り、私の誤りでなければ家庭消費量の 50%に近いものであることに驚きました。EV 或いは水素燃料車等への転換が急がれますが、技術改良の迅速化や低販売価格への移行は短期間で全面的に達成できうるものとは考えられず、要はユーザーのエネルギー問題に関する意識の向上と、さらには日本経済の顕著な早期復興を待つことになりましょうか。</p>	参考	消費エネルギーを提示している自治体は少なく、一律の比較は困難です。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
31	<p>P11 第2章 1項 (1) ①最終エネルギー消費の特徴について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、改正省エネ法の適用範囲が拡大し義務化が進展しますが、その際、評価は1次エネルギーにて行われます。にもかかわらず、最終エネルギーにて消費状況を示すことは、市民・事業者の選択にバイアスを与える可能性があると懸念されます。よって1次エネルギー、あるいは両者を併記することを提案します。 	参考	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

No.	ご意見 (要旨)	分類	本市の考え方
32	<p>P16 第2章 1項 (2) ② 1)本市内の立地する主要なエネルギー転換施設のエネルギー供給について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域におけるエネルギー需給の全体フローは貴重なデータですが、P17に記載された「東京電力株式会社の横浜市内に対するエネルギー別発電電力量構成比」は「市外の異なる種類の電源(水力など)からの電力や、効率の低い火力発電所からの電力も含まれ供給されている」ことを表しており、P16のフローと矛盾します。 <p>P17 はあくまでも東京電力全体のエネルギー別発電電力量構成比であり、「横浜市内に供給された電力の構成比とは異なる」と注釈を加えることを提案します。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、p16のフローの「注2)最終エネルギー消費において、市外から供給された供給されたエネルギーの利用や消費者側での再生可能エネルギーの利用などは考慮していない。」において表現されているものと考えます。</p>
33	<p>P17 第2章 1項 (2) ② 2)本市への電力供給について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市内へ供給される電力のエネルギー別構成比が示されています。これは全電源平均の考え方に基づくものであります。一方、P16の「エネルギー需給全体のフロー」はそれと異なる性格のデータと解釈されます。 <p>これらを矛盾なく理解するためには、P17 はあくまでも東京電力全体のエネルギー別発電電力量構成比であり、「横浜市内に供給された電力の構成比とは異なる」と注釈を加えることを提案します。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、p17の本文の「本市を含めた事業エリア内の各種の発電所において発電された電気を本市内に供給しています」において表現されているものと考えます。</p>
34	<p>P24 第2章 2項 市域における最終エネルギー消費量の算定結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1次エネルギー消費・削減量の算定結果」を併せて記載することを提案いたします。これは、改正省エネ法に基づくエネルギー消費削減効果が1次エネルギー 	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>ギーで評価されることから、少なくとも両者を併記する必要があると考えられ、修正を提案します。</p>		
35	<p>横浜市におけるエネルギー消費における特徴は、自家用車を含めた家庭での利用が全国平均（約22%）に比して約47%と25%も高くなっています。その消費の主なものは電力と都市ガスであり、それぞれ40%程度で家庭での省エネが大きなポイントになります。</p>	賛同	<p>ご意見のとおり、本市では家庭部門での取組が重要と考えております。市民の皆様と協力して、プランを着実に推進してまいります。</p>
36	<p>P18 第2章 (3) 再生可能エネルギー等の導入状況</p> <p>既設マンションへの太陽光発電システムの導入</p> <p>横浜には民間分譲マンションが林立しています。新築マンションには太陽光発電パネルの設置は取り入れられていますが既設マンションにはかような制度はありません。</p> <p>既設マンションに太陽光発電システムを導入できるよう、全国に先駆けて横浜独自の制度を構築し導入していただきたいと思えます。</p> <p>そうすれば「市民発電所」（ご当地電力）として消費電力の節減に多大のアクションになると信じます。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
37	<p>P.19</p> <p>再生可能エネルギーの導入状況において、ほとんど、小中学校が太陽光発電設備としてが列挙されていますが、小中学校の太陽光発電設備には現在、蓄電池などの設備がないので、現状では災害時の電気として利用出来ないのではないのでしょうか？</p> <p>小中学校は災害時の拠点となっていることが多く、近隣の住民や、学校の保護者は、この太陽光を災害時の電気として</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、既設置の設備の見直しに関する記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>安心材料としていることも多いと思われ ますが、実際には利用出来ないという のは、問題だと思います。災害時の整備 を優先的に進めるべきではないでしょ うか？</p>		
38	<p>第2章 19 ページ～</p> <p>■横浜市は学校・区役所等 240 か所近 く太陽光発電を設置している。 これらの場所で設置した太陽光発電を 活用した環境教育等どのぐらい実施し ているのか。 本団体で県・市町村と連携して、毎年太 陽光発電設置校で見学、授業を毎年実 施している。 授業のうちに、自宅に設置している人と 聞いているが、先生も含めて 自宅に設置していると答える人数が明 らかに多い。</p> <p>★提案 太陽光発電設置校での太陽光発電を 活用した環境教育の実施に向けて、年間 計画を立てて、実施する NPO 等に費用 負担をして推進する事を提案します。せ っかく良い教材があるのに活用されて いないのは、普及啓発の観点からも勿体 ない。 市内でも太陽光発電について知識を持 って活動している NPO が幾つかいま す。</p> <p>★実施できる NPO を募集して、ネット ワークをつくり、NPO のアイデアも 聞きながら進める事を提案します。</p> <p>★昨年、本団体が中学校に依頼されて実 施した授業は、こちらで見学・講座を終 了後、生徒たちが、再生可能エネルギー 毎のチームをつくり、調査をして全学</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨 は、第5章の情報発信、環 境教育の充実に含まれて おります。いただいたご意 見を踏まえ、プランを着実 に推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>年の生徒の前で発表し、それにアドバイスするという授業を実施しました。</p> <p>この授業により、将来の担い手の育成、家庭への影響力は大きいと思いました。</p>		
39	<p>第2章 23 ページ～</p> <p>本市における分散型電源の導入目標について</p> <p>■提案</p> <p>木質バイオガスについての賦存量調査の実施と活用について</p> <p>製材所のチップ,カンナ屑、街路樹の剪定木,腐らせるとさらに二酸化炭素が排出される。</p> <p>学校も資源の宝庫である</p> <p>また、道志村との連携もある</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

◇第3章 基本的事項

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
40	<p>P25 第3章 1.取組の方向性～エネルギー循環都市を目指して について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの基本的視点に賛同いたします。 	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。</p>
41	<p>P25 第3章 1.取組の方向性 図 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図中右上のエネファームの写真が旧式です。最新式の写真に差し替えることを提案します。 	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
42	<p>P26 第3章 2.施策の柱と基本的考え方 表中 ⑤まちづくりと一体となった取組「基本的な考え方」欄2行目について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コージェネレーションの導入促進等を織り込み、自立的・効率的なエネルギー利用を面的に推進します」とありますが、みなとみらい2050アクションプランとの整合性をとるため、「自立分散型で効率的なエネルギー利用・・・」と修正することを提案いたします。 	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。</p>

◇第4章 主要施策

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
43	<p>アクションプラン拝見しました。</p> <p>ぜひ、加えていただきたいのが、初期投資ゼロの省エネ対策を可能とする政策です。</p> <p>米国 PACE（業務中心）、英国グリーンディール（家庭中心）を参考に、特に PACE は固定資産税から回収するモデルですので、一考の価値があると思います。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章において、投資に関する記載を加えました。</p>
44	<p>木質バイオマスエネルギー利用促進の取組みを進めて欲しい。</p> <p>市内には多くの放置された山林があり、間伐を進めることで CO2 の吸収量も増やすことができるとおもわれる。</p> <p>また、緑アップ計画でも緑地の保存だけでなく、樹林地の手入れを進めることとなっている。</p> <p>これらの活動により大量の間伐材が生まれるが、市内では需要が少ないため、処理が困難となっている。</p> <p>これを木質バイオマスエネルギーとして発電や熱源として利用することで、エネルギーの地産地消も進み化石燃料使用量の削減効果も見込める。またライフスタイルの見直し等の二次的な効果も考えられる。</p> <p>煤塵等は技術的に解決できる問題である。</p> <p>バイオマスエネルギー利用が、ゴミのガス化だけでは不十分ではないかと考え、意見を提出した。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章において、木質バイオマスなどに関する記載を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
45	<p>意見内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市においては、特に最先端で積極的なヒートアイランド対策が必要→これこそ環境未来都市のあるべき姿であると考えます ・緑化のみでなく、再帰性反射を有する窓や外壁、緑化できない屋上の高反射率が、ヒートアイランド対策及び CO2 削減に重要であると考えます <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4章 省エネルギー対策を支える技術の導入 2 CASBEE 横浜のヒートアイランド対策に具体的な対策案を掲載する（窓の再帰性反射フィルムなど） ・第4章 5 省エネ改修、横浜市公共施設管理基本基準でも、光の反射（特に再帰性反射）を利用したヒートアイランド対策を盛り込む ・第5章 まちづくりと一体になった取り組みにおいては、特にみなとみらい 2050 プロジェクトやエキサイトよこはま 22 のような人が多く集まる場所で、積極的に緑化＋光の反射（特に再帰性反射）のヒートアイランド対策を進める 	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に緑化や雨水利用による省エネ推進の記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
46	<p>エネルギーについて真っ先に思い浮かんだのが“ガビオタス”という本で紹介されたコロンビアの平原しかない場所で科学者が集い自然の中でエコ集落を作っていくという実話なのですが、私はこのような研究者や科学者、それを学ぶ子供たちが集うエコタウンを通信隊跡地に作ることを提案します。</p> <p>1. 日本を本当の科学先進国にするために 日本は確かにノーベル賞を次々と輩出する科学先進国です。しかしながら研究レベルでの先進科学や開発成果は必ずしもビジネスに結びついておらず世界に遅れを取っていると実感します。日本は決してトヨタのような企業ばかりでなく新たな技術への投資リスクを取らず大きな進歩の無い状況が続いていると感じますし、実際にそのような新たなチャレンジはベンチャー企業のような自由度がある企業が主体になっていると思われまます。創造力がいくらあってもそれが形にならなければ技術は埋もれるばかりです。</p> <p>私は、多くの科学者や研究者、それを学ぶ大学も同じ場所に集い自治体がそれを後押し出来るような環境が理想と感じますし、それを通信隊のような場所に作ることを提案します。</p> <p>2. 子供の将来 子供の頃にこそ創造を形にする場が必要です。私も子供のころ自作でラジオを作りました。もちろんテキスト通りで上級生に手解きを受けながらでしたが、完成して音が出た時の喜びは今でも忘れ</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>ません。子供は大人以上に自由な発想を持っていますから、“環境”さえ与えれば次々と新たな技術も生まれるかもしれません。私が思う“環境”とは、学べる場、一緒に考えてアドバイスする人が居る場、そして試せる場だと考えます。科学は歴史の積み重ねという部分もありますから前例を知る事は重要です。すぐに資料が見れる場があるべきですし、近くに一緒に悩んでくれる科学者や研究者の存在も必要です。そして何より学校では教科書に沿った経験になりますが、ガビオタスのような自由な場があれば創造力も無限大に広がります。</p> <p>3. シニアの活躍</p> <p>日本の技術は戦時中や戦後に一気に高まり、その体験をした現在のシニアの方々が悉く引退され企業には経験の少ない技術者だけが取り残されビジネスの場が無くなった日本だけでは生き残れず急に世界の舞台に押し出されています。</p> <p>シニアの方々は戦中戦後の経済発展の原動力として活躍され、その時に創造からビジネスに変える貴重な経験を現実にしてきています。先の子供の手助けと同時に、現在の科学者や研究者が持ち合わせていない、正にこの実際のビジネス化のプロセスについて一緒にお手伝い頂く場をガビオタスに作り、同時にシニアの体験を生かせる場にすることができます。</p> <p>4. エネルギーについて</p> <p>私の会社は20年も前にゼロエミッションを掲げてビジネスに結び付けようと</p>		

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>していましたが、残念ながら時期早尚で失敗に終わりました。ここから学べたのは理想だけではビジネスにならずステップを踏む事が重要ということです。</p> <p>エネルギーもドイツのように再生可能エネルギーだけで 100%賄うには未だ時期が早すぎます。自然エネルギーも日々新たなアイデアが出ていて方向性が定まっていません。私は冷却（冷房）に関わる仕事をしているので例に挙げると、現在の冷房の熱源は電気、ガス、油などの化石燃料が源で、今は各社効率を高めて使用量を減らす段階です。しかし技術的には太陽熱（太陽光ではありません）を利用してさらに化石燃料使用量を減らす事も可能ですが、初期費用や製造段階でのエネルギー使用量が多すぎて現実的では無いとされ、主流にはなっていません。</p> <p>顕在化している技術を寄せ集めたスマートシティは企業にとっては今目先にある製品を納入する顧客であっても夢の場ではありません。ですから一步先行くために、潜在的に可能性のある科学を結集して産学自治体が一体になって実現させるのが私の提案するエコタウンの目的になります。</p> <p>5. 横浜、泉区的发展</p> <p>シンガポールは資源を持たない国で、人口も減少傾向にあることから、国の方針で大学に優秀な外国人留学生を集めそのままシンガポールに定住さすよう奨励策を取っています。日本も人口減少を食い止めるためには何れは外国人を増やす以外無いように思えます。また同時に今の子供たちがビジネスの中核にな</p>		

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>って活躍する頃の様々な競争相手は外国人が当然になっているかと思えます。私も今サウジアラビアでこの原稿を書いています。日本という国が如何に閉ざされた国かを日々実感する次第で、国や企業が掲げるグローバル化などとは実体のないスローガンにしか思えません。</p> <p>そんな壁を作らぬよう、このエコ集落には横浜市大などで集めた外国人留学生も研究に加わり日本への定住も積極的に促す制度を作る事も考えてはどうか、と思えます。生きた英語を使う場が無ければいくら学校で学んでも意味ありませんし。</p> <p>理系の人ならガビオタスをよんで少なからず感銘を受けると思えます。それは一重に創造が現実になるプロセスにあります。この本は翻訳が悪いのですが、本当に読み難いですが、得るものは多いです。ただ、様々な技術は法規制も必ず関わりますので自治体や国の規制や法令との関連もあり、そのような意味でも自治体側の理解や後押しも必要になります。</p> <p>私個人的には、日本が自然に溢れているばかりでなく、再生可能エネルギー立国の先進地域として活躍し日本人自身に自信や誇りを持って活躍して欲しいと願うばかりです。</p>		
47	<p>・横浜の海岸は、以前は自然豊かな砂浜や干潟であったが、埋立が進んで工場等の産業施設が林立し、自然海岸がほとんど失われた。この状況に対する反省として、人工海岸に小さな砂浜（「チョイ浜」と呼んでいる）を作り、少しでも環境を回復しようとする考えが、NPO 法人を</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>中心に進められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フルボ酸が環境で役立っている」ことを周知する啓発活動の一環として、「チョイ浜」作りに協力する。候補地のひとつとして、杉田臨海公園の海岸があげられる。 		
48	<p>○横浜市が計画している生ゴミバイオガス発電について、集められる生ゴミは、従来通り、ポリエチレン袋に入れて指定収集場所に出してもらい、プラント内で生ゴミとポリ袋等の異物を分離し、生ゴミは、発酵させメタンガスを精製工程に進める。</p> <p>○分離したポリ袋や応募品のコーヒーフレッシュのフタは、他のプラ製品と共に、熱分解油化装置に投入し、ディーゼル、ボイラー燃料の精製材料にする。そして、精製した燃料は、各施設内の車輛や機械に給油して使う。</p> <p>○コーヒーフレッシュのフタから、取ったアルミで、各施設内の駐輪場の屋根を作る。その屋根に、ソーラーパネルを設置し、施設の補助電源とする。</p> <p>○これにより、市民の参加の成果を実感できる仕組になる。又、プラ製品をディーゼル・ボイラー等の燃料製造体制ができることで、所定（指定）の材質のプラ製品を買い取り・仕入して、がんばる正当な（低所得）市民の生活資金支援効果も向上させられる。</p> <p>→将来的には、生活保護費制度の改善にもつなげられる。</p> <p>→結果的に、プラゴミの減少や原油輸入依存軽減にもなる。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
49	<p>エネルギーの導入について 地域の再生エネルギーとして、太陽光、太陽熱の導入の更なる推進を。 屋根貸しの推進を市民ファンドと組み合わせる。</p> <p>市内の廃校施設等の活用策との組み合わせも。</p> <p>生ゴミバイオマスかについては目標時期、能力、経済効果等を早急に見極めるべき。</p> <p>他の活用策（たい肥か、飼料か等）も環境対策として考慮すべき。</p> <p>市民ファンド発電事業の立ち上げについては、事業計画づくり支援、発電電力の有効利用支援を行うべき。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第4章に全般的に包含されています。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>
50	<p>エネルギー消費について 横浜市のエネルギー消費の47%を占める家庭部門の省エネ推進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭：住宅の断熱推進：築後40年以上の住宅を対象に計画的に支援を。 <p>現在のやり方ではとても進まない。 照明のLED化推進。大きな省エネ効果が有る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車：省エネ車種導入支援を。HV，EV，水素等。 <p>非常時の家庭用の電源利用も可能な仕様を。</p>	包含	<p>アクションプランでは、第4章4省エネルギー対策を支える技術の導入において、スマートな住まい方プロジェクトの1つとして住まいのエコリノベーションを推進していきます。いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
51	<p>埠頭では、カジノやるより水素活用しろ。</p>	参考	<p>第4章5まちづくりと一体となった取組の中で、港のスマート化を掲げています。いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
52	<p>都市でのエネルギー使用量増加は、都市のヒートアイランド現象が原因の一つです。</p> <p>ヒートアイランド現象によって冷房使用が増え、夏季のエネルギー使用量増加につながります。</p> <p>ヒートアイランド現象を緩和することでエネルギー使用量を減らすことができると考えます。</p> <p>ヒートアイランド現象の緩和の方策の一つが、緑地面積を増加させることです。</p> <p>横浜市の緑地は年々減少する傾向にあります。横浜みどり税の導入もあって減少に歯止めがかかりつつあります。大規模な緑地を創出することは困難ですが、港北ニュータウン整備時に使われたグリーンマトリックスシステムのような手法を使えば、大都市においても緑地を増やしていくことは可能です。また、緑地の増加はみどり税などの事業です。すでに進められているので、新たに事業を立ち上げる労力を必要としません。</p> <p>アクションプランの中に、緑地面積の増加によりヒートアイランドの緩和とエネルギー使用量の低減を図っていくことを明記すべきと考えます。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に緑化や雨水利用による省エネ推進の記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
53	<p>第4章 37ページ～</p> <p>■大きい発電の他に地方に応じた発電方式を選ぶ</p> <p>地方によるプラン 地熱。温水</p> <p>■個人レベルの発電—送電網もいらな いし、蓄電も含めて</p> <p>地下熱、排水等</p> <p>■ビニールハウスの温室地下にする</p> <p>冬 高温 夏低温</p> <p>地下水、温水</p> <p>■省エネの情報提供について</p> <p>具体的な省エネルギー講座を様々な 所で実施してほしい</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
54	<p>第4章 37ページ～</p> <p>■省エネの情報提供について</p> <p>どのくらい消費しているかだけでなく、具体的に家計が削減されるか具体的な講座を消費生活関係でもつと実施してほしい</p> <p>■暖房機器はそれぞれの機器毎に、どれが省エネ化わかるようにしてほしい</p> <p>オール電化、ガス等</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組促進に向けた主要施策に含まれております。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>
55	<p>第4章 38ページ</p> <p>②市民出資による地域主体の発電事業の推進</p> <p>■事業体の立ち上げについて</p> <p>経験者等のアドバイスの仕組みが必要</p> <p>■資金調達について</p> <p>ふるさと納税に地域主体の発電事業を入れる仕組みができないか</p> <p>■設置場所の借入等について、エネルギーアクションプランの事業であるという位置づけが必要である</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
56	<p>第4章 37ページ～75ページ 提案</p> <p>太陽光発電を自宅につけて暮らしているが、太陽光発電を普及するのに暗いニュースばかりが聞こえてくる。これではなかなか普及が進まない。</p> <p>電力会社が家庭の電力も買わなくなるのではないかというニュースを聞くが、横浜市からも家庭の電力は買い取る様に働きかけをしてほしい。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組促進に向けた主要施策の中で、わかりやすい情報発信として含まれています。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>
57	<p>第4章 37ページ～75ページ 提案</p> <p>一般市民の一番取り組めるのは省エネルギーである。</p> <p>見学会で必ず省エネ講座を実施しているが、自分は、どれだけ省エネを実施すれば良いのか、目安となる数字(国の国民行動の目安のようなもの)を出すことはできないか。できれば金額も入っている方が良い。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
58	<p>第4章 37ページ～75ページ 提案</p> <p>27年度は、子どもたちの見学会も実施予定であり、その中でも子ども向けの省エネ講座を実施予定であるが、あわせて横浜市の様々な再生可能エネルギーの現場の見学も実施し、子どもたちに様々なエネルギー活用ができる事を知らせていきたい。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組促進に向けた主要施策の環境教育などに含まれています。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>
59	<p>第4章 37ページ～75ページ 提案</p> <p>自宅に太陽熱利用を取り入れている。</p> <p>30年故障もなくメンテナンスフリーで、太陽光発電に比べて価格も安価である。ガス代、水道代の大きな低減になり、二酸化炭素の削減効果も大きい。</p> <p>新築の家には太陽熱利用も位置づけて</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第5章の市民・事業者の実践行動などに含まれています。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	ほしい。		
60	第4章 37ページ～75ページ 提案 といを切ってタンクに貯めるだけで雨水利用を実施している。雨水の活用をもっと市民にひろげていく事を提案します。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に緑化や雨水利用による省エネ推進の記述を加えました。
61	第4章 37ページ～75ページ 提案 LED電球の取組のように、市民が取組やすい項目を幾つか選び、横浜市・区役所・自治会・町内会等の推進主体が連携して、市民一人一人が取り組めるアクションプランを提示して、市民の行動を促す。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章に役割分担に関する記述を加えました。
62	第4章 37ページ～75ページ 提案 一般市民の一番取り組めるのは省エネルギーであり、多くの人に取り組めばその効果は大きいと言うことを市民に知らせる仕組みと合意形成が必要である。	包含	いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組を促進するために大切なことに含まれております。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。
63	第4章 37ページ～75ページ 提案 横浜市、区役所、自治会、町内会等の連携の場、またはその枠組み作り(プラットフォーム)が必要である。	包含	いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組促進に向けた連携体制に含まれております。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。
64	第4章 37ページ～75ページ 提案 こどもに呼びかけて、子どもを通して、大人へのよびかけを実施している・学校への呼びかけを増やす仕組みと制度が必要である。	包含	いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組促進に向けた主要施策の環境教育などに含まれております。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
65	<p>第4章 37ページ～75ページ 提案</p> <p>LED電球の取組のように、市民が取組やすい項目を幾つか選び、横浜市・区役所・自治会・町内会等の推進主体が連携して、市民一人一人が取り組めるアクションプランを提示して、市民の行動を促す。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章に役割分担に関する記述を加えました。</p>
66	<p>エネルギーマネジメントの展開について</p> <p>新たなまちづくりに合わせて、エネルギーマネジメントシステムを導入し実証を行うのとは違い、インフラ更新が容易ではない大規模既成市街地に対して横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）を推進し、この横浜を、住む人が無理のない省エネ行動を実践しつつ、低炭素型の都市に変革することを目指して、市民、事業者、行政の連携により日本版スマートグリッドを構築し、その成功モデルを国内外に展開せんとし、取り組むことを評価します。公民連携による推進体制「横浜スマートエネルギー協議会（仮称）」の推進について協力をしていきます</p>	賛同	<p>ありがとうございます。市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。</p>
67	<p>29ページでは2020年度におけるHEMSの導入目標が165,000件とあります。全市の所帯数の10%を上回る設置目標は達成に大変な努力が必要でありましょう。31ページの実証速報をみても、特典付与はともかくとして情報提供が重要素となっていることが理解できます。廃棄物オペレーションとは比較にならない大オペレーションであるが故に市民に対するエネルギー対策の重要性の継続的な呼びかけと情報の提供が目的達成に不可欠であるが故に、映</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章にHEMSの普及促進に関する記載を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	像、活字メディア等を多用した広報活動が必要と考えます。		
68	<p>第四章</p> <p>（1）エネルギーマネージメントの展開について</p> <p>横浜市はHEMS, BEMS等先進的な取り組みを進めています。今後の日本の省エネにおいてIT化によるエネルギーマネージメントは重要と思います。推進をするとともに、街路灯などの省エネ等、市で取り組めることも入れ、さらに推進をすることが良いと思います。</p>	賛同	ありがとうございます。プランを着実に推進してまいります。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
69	<p>P29<エネルギーマネージメントの展開></p> <p>（1）目指す姿</p> <p>この成果を活用し、優れた省エネ行動を行った方々への取組を各区と連携してPRするほか、…省エネ診断などを行います。こうした取組を通じて、快適な市民生活を維持しつつ、国が進めている、柔軟な電力料金体系の創設に貢献していきます。</p> <p>（意見）</p> <p>国は、電力・ガスなどのエネルギー制度全般の改革を進めていて、需要サイドの改革では、自由化や規制撤廃など様々な課題が並行して進められています。また、YSCPなどで培ってきたエネルギーマネージメント等の実績は、「柔軟な電気料金体系の創設」のみに利用するものではなく、エネルギー全体の効率的な利用の推進、自由な競争の進展などに広く生かされるべきと考えます。</p> <p>（修正案）</p> <p>この成果を活用し、優れた省エネ行動を行った方々への取組を各区と連携してPRするほか、…省エネ診断などを行</p>	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>います。こうした取組を通じて、快適な市民生活を維持しつつ、国が進めるエネルギー制度改革に貢献していきます。</p>		
70	<p>P 3 5 ②「横浜地域新電力（仮称）」構想の推進</p> <p>2016年4月からは、電力の小売参入が全面自由化され、全ての需要家が電力会社を選べるようになるとともに、地方公共団体も家庭等に電力を販売できるようになります。こうした背景から、…</p> <p>【第三段落目～】</p> <p>本市においても、市の施設等で再生可能エネルギー等を活用して創られた電力を調達し、市内の公共施設等に供給して、エネルギーの地産地消を促進する「地域新電力」構想について検討を進めます。</p> <p>（意見）</p> <p>電力小売の全面自由化に加え、ガス小売についても全面自由化を前提にした検討が進められ、また、熱供給事業の料金規制も廃止されるなど、エネルギー全体について市場開放に向けた議論が進められています。</p> <p>地域熱供給事業については、みなとみらい地区など、横浜市内でも地方公共団体による事業参画が既に実績をみせていますが、電力の調達・販売に限らず、ガス・熱を含めた総合的なエネルギー活用についてご検討いただくことが有益と考えます。これに伴い、表題も「地域における総合エネルギー供給会社」に関する構想とすることが適切と考えます。</p> <p>本アクションプランでは、地域におけるエネルギーの地産地消を目指す方針が明示されていますが、横浜市内各地の焼却工場では、熱・電気の供給事業を行う</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、「横浜地域新電力（仮称）」構想推進の記載を修正しました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>ことで、「地産」エネルギーを既に作り出しています。この地産エネルギーの供給先を、横浜市の公共施設など市内に限定することは、地産地消を実現する枠組みの一つになり得ると考えられます。</p> <p>（修正案）</p> <p>表題 ②「地域エネルギー供給会社（仮称）」構想の推進</p> <p>2016年4月からは電力の小売参入が全面自由化されるのに加え、その後ガスも小売全面自由化が見込まれるなど、全ての需要家がエネルギー会社を選べるようになるとともに、地方公共団体も家庭等にエネルギーを販売できるようになります。こうした背景から、…</p> <p>【第三段落目～】</p> <p>本市においても、焼却工場等の施設で再生可能エネルギー等を活用して創られた電力・熱等を調達し、市内の公共施設等に供給して、エネルギーの地産地消を促進する「地域エネルギー供給会社（仮称）」構想について検討を進めます。</p>		
71	<p>P28 第4章 1.エネルギーマネジメントの展開 (1)目指す姿 について</p> <p>・第4段落に「日本版スマートグリッドを構築し」とありますが、スマートグリッドという言葉は、全編でこの1か所だけです。特別な意図がないのであれば、「日本版スマートグリッド」を「スマートコミュニティ」に修正することを提案します。</p>	その他	この表現は、元となる次世代エネルギー・社会システム実証事業などから引用したものです。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
72	<p>P29 第4章 1.エネルギーマネジメントの展開 (1)目指す姿 について</p> <p>・P29 の第3段落、「年間のわずかな時間に発生する電力のピーク需要を満たせるように、電源が確保されている場合、ピークカットまたはピークをずらすピークシフトにより、発電所の建設や改修など電源開発投資や、コストの高い電源の焼き増しを抑える効果が期待されます。」について、ピークシフト等しない場合の課題と、ピークシフト等した場合の効果が判りにくく感じます。例えば、「年間のわずかな時間に発生する電力のピーク需要を満たすために、稼働率が低く効率も低い老朽石油火力発電所を利用する場合、ピークカットまたはピークをずらすピークシフトにより、新たな発電所の建設や老朽発電所の改修など電源開発投資や、コストが高く且つ温暖化ガスの排出量の多い電源の焼き増しを抑える効果が期待されます。」とすることを提案します。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。</p>
73	<p>P29 第4章 1.エネルギーマネジメントの展開の(1)目指す姿の「主な指標(2020年度)」について</p> <p>・2020年までのBEMS、HEMSの導入指標が明記されておりますが、建物間でのエネルギー融通を図るCEMSについて具体的な目標が明記されておられません。貴市は今後、MM21地区、山下ふ頭、市民病院移転など、大規模再開発事業が多数控えており、各地域にてスマートエネルギーネットワークを構築するチャンスが多数あると考えます。地域全体にて電力と熱の融通を行い、大規模コージェネなど高効率熱源機を稼働させ易い環境を整備するためにも、CEMS</p>	参考	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	導入について具体的な指標を明記することを提案致します。		
74	<p>P32 第4章 1.エネルギーマネジメントの展開 (2)主な取組 (2)-1 ② 1)YSCP モデル導入による東北復興支援 について</p> <p>・第1段落で「災害に強いまちをつくるため、被災地におけるスマートエネルギーシステムの導入、スマートコミュニティの構築が国を挙げて進められています。・・・本市では、」としていますので、「自立分散電源を統合的にエネルギーマネジメントすることで、災害に強いまちをつくること」についても、目指す姿の中で触れていただくことを提案します。</p>	参考	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
75	<p>P32 第4章 1.エネルギーマネジメントの展開 (2)主な取組 (2)-1 ② 1)YSCP モデル導入による東北復興支援 について</p> <p>・「災害に強いまちをつくるため、被災地におけるスマートエネルギーシステムの導入、スマートコミュニティの構築が国を挙げて進められています。」としていますが、「スマートエネルギーシステムの導入」でなぜ「災害に強いまちづくり」となるのか、「スマートコミュニティの構築」でなぜ「災害に強いまちづくり」となるのかが良く判りません。より具体的に、「自立分散電源を統合的に制御するスマートエネルギーシステムを導入することで、災害に強いまちをつくる」ということがより明確に伝わるような内容に修正することを提案いたします。</p>	参考	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
76	<p>P34 第4章 1項 (2)-2 エネルギー連携の推進 ①特定供給によるエネルギーの面的利用の促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名および本文3行目の「特定供給」について正確を期す為、「電力の特定供給」と加筆することを提案いたします。 	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、注釈部分において表現されているものと考えます。</p>
77	<p>P35 第4章 1項 (2)-2 エネルギー連携の推進 ③京浜臨海部における立地企業の連携によるエネルギー融通について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー融通などの実現を目指した取組みに賛同いたします。 	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。</p>
78	<p>P37 第4章 2項 (1)目指す姿 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P38 の最終段落に「工場廃熱等の未利用エネルギーについて、地域に融通するなど、・・・」と記載されていますが、「さらにコージェネなどの自立分散型電源の廃熱を有効に組み合わせることにより積極的に利用する」と加筆することを提案いたします。 	参考	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
79	<p>p.32 スマートビジネス協議会（仮称）を設立しますとありますが、ここに市民電力は加わるのでしょうか？また、この発足の為に、既に平成26年度予算概要に800万円の予算がついているようです。この使い道についてお聞き出来ますか？</p>	その他	<p>スマートビジネス協議会の詳細につきましては、現在、検討中であり、今後、機会をとらえて情報発信をしてまいります。</p>
80	<p>エネルギーソリューションセンター横浜（仮称）は東芝のプロジェクトのようですが、これは新しく大きなビルが建つイメージなのでしょうか？</p>	その他	<p>エネルギーソリューションセンター横浜（仮称）の詳細につきましては、現在、検討中であり、今後、機会をとらえて情報発信をしてまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
81	<p>p.35 横浜新電力構想にも市民電力は参加できるのでしょうか？ せっかくならば、まちエネ大学横浜校のネットワークでも参加出来たらいいのにと感じました。</p>	その他	<p>「横浜地域新電力（仮称）」構想の詳細につきましては、今後、検討をすすめてまいります。</p>
82	<p>横浜地域新電力については、地域外でも再生可能エネルギーであれば積極的に買い取るようにしていただき、グリーン電力比率の高い新電力としていただきたい。さらに、グリーン電力比率が高い新電力には国からの認定制度や電力買取補助等を働きかけていただきたい。</p>	参考	<p>「横浜地域新電力（仮称）」構想の詳細につきましては、今後、検討をすすめてまいります。いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
83	<p>地域新電力構想のなかで、500戸以上の住宅への電力供給となる特別高圧設備への優遇を検討いただきたい。HEMSの全戸設置やエコ活動推進の備えがある場合は、供給電力料金の割引等、市民力の活用がエネルギー負担の軽減などの経済的メリットに繋がる仕組みとなることを期待したい。</p>	参考	<p>「横浜地域新電力（仮称）」構想の詳細につきましては、今後、検討をすすめてまいります。いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
84	<p>みなとみらいの未利用地区画の一部にエネルギーセンターを設け、地域活用できるコジェネ、水素ステーション等を配置。商・業・住・文+モビリティ等でバランス良く利用する仕組みができないか。そのエネルギーセンターを地域貢献施設化する。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
85	<p>市内エネルギー転換施設からの買い取りに対して割安価格設定を行い地産地消推進を図る。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第4章1エネルギーマネジメントの展開において、「横浜地域新電力（仮称）」構想の推進の中に含まれるものです。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
86	<p>BEMS 等の活用による電力ピークカット／平準化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ YSCP における DR 実証は、強制性を持たせず、各エンドユーザーの裁量で DR メニューを実行した点は評価できる。 ・ 地域エネルギー制御においても同様に、大きな目標値の共有と配分を通じて、各ユーザーが無理をしない形で実施できるような方法を構築していただきたい。他地域に見られるような CEMS などを通じて強制的にコントロールする仕組みは長続きしないと考える。 	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第 4 章のエネルギーマネジメントの展開の中に含まれています。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>
87	<p>横浜スマートビジネス協議会の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅のみならずビルなど業務施設においては、働く人々の健康や快適性を確保することが重要であるため、各施設の対応省エネメニューなどを収集し、公開し、共有し、普及させることも有用ではないか。 	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、横浜スマートビジネス協議会の今後の活動の検討にに含まれています。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
88	<p>35 ページで「横浜地域新電力（仮称）」構想の推進を掲げていますが、これは実に卓越した構想であり、是非実現していただきたいものです。</p> <p>この場合、横浜市の持つ公共施設は歴大なものであり、しかも横浜市全域に適度にちりばめられていますので、これらを地域の中核のエネルギー基地とし、この各区にちりばめられた歴大な潜在的ポテンシャルを極限まで活用するためには次のような対策を取る必要があると思います。</p> <p>①土地や建造物を立体的に活用 ②建物の南側壁面には地上から屋上パラペットまで太陽電池パネル及び太陽熱温水器を設置する。 ③建物の南側を除くすべての面の壁面には地上から屋上パラペットまで壁面緑化する。 ④建物と上記②、③の間に多段に雨水貯留槽を設置する。 ⑤屋上は立体農園にする。 ⑥立体農園の屋根全面に太陽電池アレイを設置する。 ⑦建物その他適当な個所に少なくとも風車発電機を1基設置する。 ⑧事業主体である市が、太陽電池の設置業者と特別の契約を締結し、割安な料金で近隣の住宅などへの設置または屋根を借りて市が設置するなどにより設置面積の拡大を図る。</p> <p>このことによる効果は以下の通りです（施設が学校の建物等を利用した場合）。</p> <p>①地域における中核的なエネルギー基地が比較的少ない費用で全市的にしかも比較的短期間のうちに完成し、それら</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>基地を結節すればスマートグリッドの構築が簡単にできる。</p> <p>②生徒や地域住民に生きた教材を基にした環境やエネルギーを始めとする様々な勉強の場を提供できる</p> <p>③立体農園で野菜などの栽培と収穫物を食することにより情操教育に資する。</p> <p>④本施設は本来の施設の目的である教育以外に、ショーウインドウとしての役目が果たせる。</p> <p>⑤雨水貯留槽を外壁面等に多段に沿設するので、建物の外壁を紫外線や直射日光、風雨から遮断するので、建物の劣化を遅延できる。また外気に直接さらされないので断熱効果がある。</p> <p>⑥雨水貯留槽のさらに外側に壁面緑化がなされるので、敷地全体の緑化面積が増大するうえその手入れを通じた自然教育や建物を美しく装うことができる。</p> <p>⑦建物の南側壁面及び屋上の立体農園の屋根に設置した太陽電池アレイにより相当の発電量が期待できる。</p> <p>⑧風力発電機を1基設置することによって、日照のない日や夜間でも発電されることが期待できる。但し、機種を選定に当たっては、近隣の苦情の対象にならないよう慎重を期することなどが直ちに考えられます。</p>		
89	<p>◇エネルギーマネジメントの展開について</p> <p>・社会実験として行っている各取組（YSCP等）について実験で終わらせないため、事業化に向けたサポート（予算措置・税制優遇措置等）にも比重をおいていただきたい。併せて、2020年のオリンピック・パラリンピックを目標に、</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第4章のYSCPのさらなる展開に含まれているものです。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>社会実験の成果を具現化し、事業や生活の継続を可能とする環境ショーケース「環境未来都市横浜」を国内外にPRしていただきたい。</p>		
90	<p>2016年4月から電力自由化が開始されます。全国に先駆け、横浜市に再生可能エネルギーを生産するコミュニティ電力を育成構築し、ここからの電力供給を受けることにより、エネルギーを自前で賄う持続可能な自治体を目指してください。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。</p>
91	<p>再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用について 再生可能エネルギーや未利用エネルギーなど市域から生み出すエネルギーを増やすことは、エネルギー循環都市に向けた取組みとして重要な取組みです。都市活動の大きな特徴の一つは人や物の移動です。例えば駅などを活用して人の移動からエネルギーを生み出すことなどは可能性があります。また市民出資等による地域主体の発電事業「ご当地電力」の推進について、生協としても協力をしていきます。 最大の未利用エネルギーでもある太陽熱の利用については、指標の一つとして明示して施策の推進を図っていくことは意義あることと思われま。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。</p>
92	<p>水流発電を提案します。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
93	<p>自然エネルギー(火力型)を提案します。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
94	<p>風力発電の小型化を提案します。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
95	<p>P38 ・の5つ目および項目追加 ・海水熱や下水熱等の温度差エネルギーを利用した高効率機器の活用が進められています。</p> <p>（意見） 海水熱や下水熱等の温度差エネルギーを利用した高効率機器の活用とは何か、若干イメージが湧きづらいかと考えます。</p> <p>ヒートポンプ機器は、この自然界に存在する熱の温度差により冷暖房や給湯における有効エネルギーを生み出し再生可能エネルギーを活用することが出来る機器です。このヒートポンプ技術は古くから身の回りの家庭用のエアコンや冷蔵庫、給湯機、業務用の冷蔵・空調機などに広く活用されていますが、最近では技術革新が進み、投入エネルギー1に対して冷熱3と温熱3と同時に活用する高効率使用するシステム等も採用されております。我が国のヒートポンプ技術は世界最高レベルのエネルギー効率を誇る技術進歩がされたことに加え、近年では様々な場面で使用用途が多様化しています。従いまして「高効率なヒートポンプ機器」との表記が良いと思われまます。</p> <p>また、再生可能エネルギーとは『エネルギー源として永続的に利用することができる」と認められるものとして、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱および大気中の熱、その他の自然界に存する熱(※)』となっていることから(※資源エネルギー庁HP引用)、身近で利用可能な大気熱についても言及しておく事が好ましいと考えます。</p> <p>また、蓄熱システムは、夜間に熱エネルギー</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>ギーを蓄え昼間に活用することで最大負荷の抑制や設備容量の低減となります。また、水蓄熱システムは災害時の非常用水としての備えとして活用事例もあることから追加項目とした方が良くと考えます。</p> <p>（修正案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水熱や下水熱等の温度差エネルギーや大気熱を利用した高効率なヒートポンプ機器の活用が進められています。 <p>【項目追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間に（冷、温）熱エネルギーを蓄えて昼間に活用することで、最大負荷の抑制や設備容量の低減となる蓄熱システムの普及が進んでおり、水蓄熱システムは災害時の非常用水としての備えとなっています。 		
96	<p>P38 第4章 2項 (2)主な取組 ①再生可能エネルギー導入検討報告制度の拡充 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末に、「さらに本報告制度の対象をコージェネ（家庭用燃料電池含む）まで拡充するため検討する」と追記することを提案します。P23 の導入目標はとてつもなく高い目標であることから、その達成向け、少なくとも導入検討を義務化することが有効です。 <p>また、再生可能エネルギー設備は気象条件に影響を受けることが多く、出力に季節別・日別・時刻別のムラが発生する弱みもあると考えます。そのムラを補完すべく、コージェネの導入促進を併せてご検討頂きたくことで、再生可能エネルギーの導入効果も向上されると考えます。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第4章の低炭素まちづくりにおける誘導策などに含まれているものです。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
97	<p>P39 第4章 2項 (2)主な取組 ③公共施設への再生可能エネルギー導入拡大 について</p> <p>・第1段落後に、「さらに各庁舎において太陽光発電や太陽熱利用による電力供給・空調システムを導入すると同時に、変動する再生可能エネルギーを補完する小型コージェネを導入し、再生可能エネルギーを最大限有効に活用しつつ、安定したエネルギーの供給、災害時に天候が悪化しても確実にエネルギーを供給可能なシステムを構築する。」と追記することを提案します。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
98	<p>P40 第4章 2項 (2)主な取組 ④特別避難所等への太陽光発電設備及び蓄電池の設置 について</p> <p>・本文後に、「かつ／あるいは同時に、変動する再生可能エネルギーを補完する小型コージェネを導入し、再生可能エネルギーを最大限有効に活用しつつ、安定したエネルギーの供給、災害時に天候が悪化しても確実にエネルギーを供給可能なシステムを構築する。」と追記することを提案します。</p>	その他	<p>再生可能エネルギー等導入推進基事業では、導入可能な設備に指定があり、ご意見を反映することは困難です。</p>
99	<p>P42 第4章 3項水素の利活用 (1)目指す姿 について</p> <p>・冒頭の枠内の2段落目、「家庭や事業所で定置用燃料電池が稼働しベースロード電源の一翼を担い、電力ピークカット／平準化が実現している」と記載されていますが、家庭用、事業所の並び順に合わせ、「電力ピークカット／平準化が実現し、一部ベースロード電源の一翼を担っている」と順番を逆にすることを提案します。これは、家庭用燃料電池（固体高分子型）は主に昼間に運転し、業務用・産業用燃料電池は昼夜連続運転を行</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	うことから、誤解を招かないようにするための修正です。 また、③の4段落目の記載も同様に順番を修正することを提案します。		
100	太陽光発電の普及に関して、農地でのソーラーシェアリングについては何も触れていないので市としては関心がないということでしょうか？	その他	本市では、特定のエリアに限ることなく、市域全体での再生可能エネルギーの普及を促進していきます。
101	公共施設での太陽光発電に関して、既設のものが実はあまり生かされていない現状もあるので、その見直しも計画にいられないでしょうか？	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、既設置の設備の見直しに関する記述を加えました。
102	地熱発電は他の再生可能エネルギーと比べて70%と設備利用率が高く、安定した電力供給であり、地熱が発電量の約4分の1を占めるアイスランドで使用されているタービンは日本製で、日本の地熱技術は世界最高峰である。日本の地熱資源量が世界3位で有り原子力発電に頼るより、最高峰の技術が廃る前に、エネルギー政策の転換を図り推進してもらいたい。	参考	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
103	都市では、降った雨はすぐ下水や川に流れ込み、誰でも使える天然資源でありながら、ほとんど使われずに無駄にしている、雨水は、利活用による省資源、省エネルギー以外にも様々な効果が期待できる天然資源である。たとえば、①ゲリラ降雨時に雨水タンクがミニダムとなり、洪水の緩和につながる。②貯留しておけば、消防用水や生活用水として災害時の水源確保が出来る、etc。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に緑化や雨水利用による省エネ推進の記述を加えました。
104	省エネ意識のすそ野を広げる為に、各住宅においての意識向上を目指す。その為に省エネ設備導入住宅、省エネ活動スキーム、実際の省エネ活動住民に対して補助金なりでのメリットを付与する。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章において、補助やポイント制度に関する記述を加えました。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
105	緑化率、緑化数の引上げに伴い容積緩和等を図り、ヒートアイランドと景観向上を実現する。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に緑化や雨水利用による省エネ推進の記述を加えました。
106	再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用について 市の清掃工場での排熱の利用については謳われていますが、ある清掃工場ではその利用率は小さいと聞いています。4箇所の清掃工場を併せると膨大な未利用エネルギーが毎日空中に捨てられ、ヒートアイランドの原因にもなっています。横浜市においては最大の未利用エネルギーと思われます。これを利用しない手はないと思います。それに対する取組みの記載がありません。それでいいのでしょうか。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、既設置の設備の見直しに関する記述を加えました。
107	太陽光発電の導入 ・太陽光発電は、出力変動が激しいために近年系統電力会社の接続が課題となりがちであるが、「横浜地域新電力」構想や京浜臨海部の企業連携の中で、蓄電の機能を強化することで、導入の推進が容易になると思われる。	包含	いただいたご意見の趣旨は、第4章のエネルギーマネジメントの展開に含まれている物です。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。
108	第4章 2・再生可能エネルギー、未利用エネルギーの活用 市民出資等による地域主体の発電事業の推進 提案 地域主体の発電事業実施には、地域の様々なステークホルダーの参加した運営組織の設置が必要である。 また、実際の設置までに様々な課題を解決しながら乗り越える事も多々あり、下記の支援制度が必要である ① エネルギーアクションプランの1つ	参考	いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>であると言う位置づけ</p> <p>② 地域とのネットワークづくりや市民出資発電等の経験を有するアドバイザーの派遣</p>		
109	<p>第4章 (2)主な取組 38 ページ</p> <p>②市民出資等による地域主体による発電事業の推進</p> <p>上記が推進しやすい環境と制度を整える方法として下記を提案します。</p> <p>① ふるさと納税の中の市民サポーターの項目には地球温暖化対策が入っていない。ぜひ温暖化対策を入れて、その中に市民発電所事業を位置づけていただきたい。</p> <p>② 市民共同発電所事業の地域への広がりへの支援策として、年間数回の普及啓発費の支援</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
110	<p>水素の利活用について</p> <p>エネルギー源の多様化の必要性とあわせて化石燃料に替わるエネルギー源としての水素に関する研究開発とインフラ整備に期待をします。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
111	<p>横浜市エネルギーアクションプランのリーフレットの（５）で、「多様な移動手段による低炭素型交通システムが構築されている。」の一方法として、燃料電池車の公共の交通を充実させることが挙げられる。</p> <p>これは、公共の交通を充実させ、マイカーを減らす推進をする。省エネ、省資源、温暖化防止の効果を目標とする。</p> <p>*公共交通は、環境への配慮として、横浜市が推進している燃料電池車を導入すべきと思われる。</p> <p>*公共の交通としては、最終的には、バス等の台数を増やし、待ち時間を減らし、多くの人のニーズに対応し、多くの人が安全に移動できる事をめざす。</p> <p>*導入の最初に、公共のタクシーの導入を提案する。横浜市の要介護者は、14万人ほどおり、介護車の台数は十分でなく、車椅子対応車は、1万円/回ほどかかる。公共のタクシーとすれば、低額で利用できる。</p> <p>*自家用車の利用としては、毎日でなく、週に一度ほど買い物に使用している割合が4割ほどである。したがって、買物の運搬での使用が乗車料金が安く、近くまで行ければ利用が高くなると思われる。</p> <p>*財源としては乗車料金であるが、公共であるので、平日の日は、25%ほどの車保有車が使用していない事から、自動車税の1/4ほどの金額を環境対策の税金として国からもらい（もらえない場合は、車保有者から排気量を算段して環境費用として徴収する。税金徴収が無理な場合、公共車の増強に賛同、車を運転しない、または、公共交通を利用する人か</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第4章3水素の利活用の目指す姿などに含まれております。いただいたご意見をふまえ、プランを推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>ら、1000円/月ほど納税してもらおう。）乗車時に納税額によって乗車料金の割引をする。</p> <p>これらをまとめると、公共車（タクシー等）であるので、次の方法とメリットとしてまとめられる。</p> <p>1 優待割引を設ける。（自動車税を払っている分の数割を納入してもらえと、公共交通を利用した時、大きな割引となる。）</p> <p>2 公共タクシーを作る。介護車両等を作る。家族で乗車できるように、ワンボックス車等も作る。（いろいろなニーズに対応する。カーシェアの方法もある。）</p> <p>3 台数を増やし、財源として乗車料金と税金でまかなう。</p> <p>4 どこでも入れて行きたいところへ行ける車にする。（軽自動車等）</p> <p>5 車関係の業者は、車の生産点検を公共車の増加でマイカーでの減少を補う。</p> <p>6 公共車の大幅な導入により、水素燃料の推進をする。</p> <p>7 平日割引を導入する。</p> <p>8 維持費がなくなるため、経済的である。</p>		
112	<p>意見募集のHPを拝見いたしました。水素ステーションについて2020年までに10か所整備されるとのことですが、ステーションの配備・配置計画や水素ステーション普及のためのロードマップを作成されてはいかがでしょうか。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
113	<p>水素の利用に関する指標 水素の利用に関する指標が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池自動車と水素ステーション ・家庭用と業務用の燃料電池 <p>に限られているような印象を受けました。</p> <p>定置型燃料電池に関しては、家庭で常々使用している都市ガスや LP ガスを利用しているため、水素によって発電しているといった認識がなく、水素に対する「拒絶反応」がないといえます。</p> <p>逆に水素ステーションは「拒絶反応」が如実に現れ、思うように事が運ばないと聞こえています。この原因は福島での事故だけではなく、エネルギーとして使用したことないのものに対する「いわれのない恐れ」と考えます。この対策は、啓蒙活動だけでは難しいでしょう。自分としては、いつの間にか身近で使用していたといった状況がよいかと思います。具体的には、小型の水素燃料電池（水素源は低圧の MH キャニスター）を屋台やキャンプなどの野外活動用に貸し出すといったものです。レンタルの形で個人負担を軽減しつつ、手軽に必要なときに必要な人が使用する。非常時における電源としての備えとしての意味もあることは言うまでもありません。エンジン発電による事故や悪臭・騒音に対しても効果があるでしょう。</p> <p>以上の観点から「燃料電池自動車（フォークリフトを含む）と水素ステーション」と「家庭用と業務用の燃料電池」だけしか読み取れない書き方に関して考慮をいただきたくお願いします。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
114	<p>再生可能エネルギー由来の水素製造の検討</p> <p>再生可能エネルギー由来の水素製造に関しては、「太陽電池⇒水電解」「風力⇒水電解」や家庭用燃料電池にあるようなメタンガス改質を「バイオガス」を利用する技術が考えられるが素案には詳しくかかれていません。</p> <p>横浜市内におけるバイオガスは、下水汚泥消化施設で既に作られており、ガスエンジン発電に使用されている。また、過去にリン酸型燃料電池の燃料として使用した経験もあり、改質の実績があるといえる。</p> <p>下水汚泥消化施設に水素ステーションを併設する。あるいは大量の水素を製造する施設を建設する。といった案が考えられ、横浜市の過去の経験を踏み台として2017年の設計以前に「下水汚泥消化ガス利用水素製造設備」の整備が可能と考えます。</p>	反映	<p>本市の下水道施設ではバイオガスを利用した、メタン、水素、電気、熱のマルチエネルギー創出に向けた研究を進めています。いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章にマルチエネルギーに関する記載を加えました。</p>
115	<p>第四章</p> <p>（3）水素の利活用</p> <p>水素はCO₂を発生しないエネルギーであり発展途上の技術です。大都市である横浜市が率先して、インフラの整備や、多くの活用方法を検討していくのは横浜市の発展のみならず、国の発展にも貢献できるのではないかと思います。燃料電池自動車のみならず、水素の生成や非常時の水素燃料電池発電による電力供給など多角的に検討を進めていくことが重要と考えます。</p>	賛同	<p>エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
116	<p>P42 3. 水素の利活用（1）目指す姿 表題枠○の2つ目</p> <p>○家庭や事業所で定置用燃料電池が稼働しベースロード電源の一翼を担い、電</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>力ピークカット／平準化が実現している</p> <p>P 4 3 下から4行目 定置用燃料電池が家庭に広く普及するとともに、事業所にも普及し、ベースロード電源の一翼を担うとともに、電力ピークカットや平準化にも貢献し、多様なエネルギー源が効率的・効果的に活用されたまちを目指します。</p> <p>（意見） ベースロード電源とは、「発電コストが低廉で、安定的に発電することができ、昼夜を問わず継続的に稼働できる電源※）」を指します。（※：経済産業省「エネルギー基本計画」引用）一方、熱と電気を同時に発生させる「燃料電池」は、エネルギー効率を高めるため、温熱需要と電力需要のバランスを考慮した‘熱主電従’の運用が一般的と考えられ、「分散型電源としてピークカット効果が期待（※）」されています。（※：資源エネルギー庁「家庭用燃料電池について」引用）</p> <p>（修正案）</p> <p>P 4 2 3. 水素の利活用（1）目指す姿 表題枠○の2つ目</p> <p>○家庭や事業所で定置用燃料電池が稼働し電源供給の一部を担い、電力ピークカット／平準化が実現している</p> <p>P 4 3 下から4行目 定置用燃料電池が家庭に広く普及するとともに、事業所にも普及し、電源供給の一部を担い、電力ピークカットや平準化にも貢献し、多様なエネルギー源が効率的・効果的に活用されたまちを目指します。</p>		

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
117	<p>P 4 2 3. 水素の利活用（1）目指す姿</p> <p>「水素」について、一般にはまだなじみが薄いかもかもしれませんが、産業分野では既に様々な分野で利用されています。製鉄や石油精製等の工場で副次的に発生し、燃料や原料として利用されたり、半導体産業など各種産業用途向けに天然ガスを改質するなどして製造・販売されたりしています。私たちの日常生活の中では、都市ガスや LP ガスから取り出した水素と空気中の酸素を電気化学反応させて発電し、発電の際に発生する熱を捨てずにお湯をつくる家庭用燃料電池（エネファーム）が普及しつつあり、また、燃料電池自動車（FCV）が世界で初めて市販されたところです。</p> <p>水素は、取扱い時の安全性の確保は必要ですが、利用段階で二酸化炭素の排出がなく、非常時においては自立エネルギーとしての機能を有するなど、・・・</p> <p>（意見）</p> <p>A：</p> <p>水素は自然界に殆ど存在しないことから、一般的に現状では記載の通り「都市ガスやLPガスから製造」され、その過程で二酸化炭素の排出が伴うこととなります。利用段階で二酸化炭素の排出が無いことはその通りですが、「水素利用＝二酸化炭素排出が全く無い」との誤解を与えない表記が必要と考えます。</p> <p>また、家庭用燃料電池とは都市ガスやLPガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて電気と熱を発生させるコージェネレーション【資源エネルギー庁「家庭用燃料電池について」引用】とあるので「電気化学反応」ではないと</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、水素の利活用の記載を修正しました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>思われます。</p> <p>B：</p> <p>熱と電気を同時に発生させる「燃料電池」は、エネルギー効率を高めるためにも、温熱需要と電力需要のバランスを考慮した「熱主電従」の運用が一般的と考えます。</p> <p>（修正案）</p> <p>「水素」について、一般にはまだなじみが薄いかもかもしれませんが、産業分野では既に様々な分野で利用されています。製鉄や石油精製等の工場で副次的に発生し、燃料や原料として利用されたり、半導体産業など各種産業用途向けに天然ガスを改質するなどして製造・販売されたりしています。私たちの日常生活の中では、都市ガスやLPガスから取り出した水素と空気中の酸素を電気化学反応させて発電し、発電の際に発生する熱を使用して捨てずにお湯をつくる家庭用燃料電池（エネファーム）が普及しつつあり、また、燃料電池自動車（FCV）が世界で初めて市販されたところです。水素は、取扱い時の安全性の確保は必要ですが、現状において製造時に二酸化炭素が排出されるものの利用段階で二酸化炭素の排出がなく、非常時においては自立エネルギーとしての機能を有するなど、・・・</p>		
118	<p>P46 第4章 3項水素の利活用 (2)-2 定置用燃料電池の導入促進 ②再生可能エネルギー導入検討報告制度の拡充について</p> <p>・この制度において、自立分散型エネルギーとしての定置用燃料電池を対象とすることを検討するとありますが、普及啓発のため重要であり賛成いたします。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
119	<p>p.47 燃料電池に対しては期待もしていますが、その導入の仕方は原発の時と似ているのが少し気になります。持てる人と持てない人との格差がさらに広がる懸念に対しては、どう捉えているのでしょうか。</p>	その他	燃料電池は個別のご家庭や事業所などに導入する設備であり、原子力発電とは異なるものと考えます。
120	<p>「水素の利活用」に関しての疑問点です。 「なぜ今、電気自動車よりも燃料電池車を推進していくのか？」 以前は、電気自動車を推進していたのではないか？ 「燃料電池車は『究極のエコカー』といわれ、走行中 CO2 を発生せず空気も汚さない。」 その通りですが、これは自動車メーカー（トヨタ）の言いなりです。自動車メーカーは燃料電池車を普及させたがっています。水素であれば、その製造産業や水素ステーションの設置というガソリンスタンドに代わる新設備の構築が可能だからです（電気自動車であれば、コンビニや官庁の駐車場にも、家庭にでも設置可能ですから、そんな大がかりな新設備は不要です。個人の手の届く範囲のエネルギーとなるのです）。 「走行中 CO2 を発生せず空気も汚さない」のは電気自動車も同じです。燃料電池車の燃料である水素を製造するのにどれだけ CO2 を出すのかを考えれば、『究極のエコカー』は返上すべきです。水素を製造する方法で、現在一番効率のよく、普及している方法は、化石燃料から作る方法で、枯渇している化石燃料を使用し、CO2 を排出します。他の方法は水の電気分解、メタノールやエタノー</p>	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に電気自動車の取組に関する記述を加えました。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>ルの改質ですが、前者は電気を大量に使用し、その発生に現時点では化石燃料を使用します(将来は太陽光発電や風力発電した電力を使用)。後者はまだ技術的に未完成の部分もあり、CO2 の排出でも疑問があります。</p> <p>「燃料電池車はガソリン車に比べて 2 倍以上のエネルギー効率を誇る」といわれます。しかし、その製造過程から計算するととんでもない結果が出ます。たとえば、水の電気分解で水素を生成するとして計算すると、水素生成の効率は0.7、ポンペに高圧で水素を充填するのに 0.9、水素から電気を生成するのに 0.5 で、総合効率は、$0.7 \times 0.9 \times 0.5 = 0.315$ となります。電気自動車の場合は、充電時に 0.95、放電時に 0.9 で、総合効率は、$0.95 \times 0.9 = 0.855$ です。電気を水素に変えずに直接充電してそれを使用の方がいかに効率がよいか分かります。燃料自動車も車を駆動する部分は電気自動車ですから、バッテリーの代わりに、エネルギーを水素に形を変えて貯蔵しただけの車です。</p> <p>効率から計算すると、電気自動車は燃料電池車の約 3 倍ですから、ガソリン車の約 6 倍になるわけです（電気自動車は 1kWh 当たり 8km 走りますから、ガソリン車の燃費が 15km とすると、1kWh 当たり 1.3km しか走りません。このデータからも 6 倍の効率です）。</p> <p>「電気自動車は 1 充電で 200km しか走らないからダメだ」という意見もあります。現在のところそうですが、メーカーも開発中で、この 2～3 年で、その数字が倍増するかも知れません。1 充電で 400km 走れば燃料電池車（600km 走</p>		

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>る)は太刀打ちできなくなると確信しています。</p> <p>したがって、横浜市は電気自動車の普及を優先すべきです。特に、充電ステーションの設置は、横浜市として努力すべきで、各官庁舎だけでなく、コンビニの駐車場(充電ステーションを設置しなければコンビニそのものも許可しないなど)や、主な街路にはパリのよう設置すべきです(日本が進んでいるとは思わない方がよいと思います。ノルウェーは走行車の約1割がEVです)。</p> <p>以上、長くなりましたが、燃料電池車よりも電気自動車普及への政策を優先してください。</p>		
121	<p>水素発電所を市内に設置いただきたい。地域新電力構想と合わせ、市内エネルギーの地産地消のグリーン電力化につなげていただきたいと思います。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
122	<p>水素ステーションの設置場所の容積緩和や隣接時の容積移転制度を策定いただきたい。より、住宅との水素ステーションとの関連ビジネスや市民利用の促進につながると思われます。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
123	<p>EV自動車と水素自動車の共存方法を作る？</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に電気自動車の取組に関する記述を加えました。</p>
124	<p>水素インフラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供給インフラの整備が最も大きな課題と考える。 ・横浜市は、全国でも水素の生産、消費が一定地区内で可能となる要素を持っており、水素社会の構築の先駆者となる可能性が高いと考える。 	賛同	<p>ありがとうございます。アクションプランにおいても水素の利活用は主要施策と位置付けております。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
125	<p>業務用定置用燃料電池の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の製品では、出力が低く、大規模建物での採用に至らない。 ・大出力の製品の開発を支援するとともに、ユーザーの導入に関しても、普及促進の観点から大胆な支援策を検討していただきたい。 	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
126	<p>P.42</p> <p>水素の活用を大きく扱っていますが、燃料電池には大きな期待を寄せてはいますが、実際にどの程度普及していくのかわからない段階で、トップダウンで莫大な予算を投入されることには抵抗を感じます。</p> <p>EV車の普及もままならない状況で、高額な水素自動車がどこまで普及していくのでしょうか？この辺りの試算はどのようにされているのかが見えてきません。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、燃料電池自動車の国や県の目標を参考にして2020年度の目標を設定しました。</p>
127	<p>省エネルギー対策を支える技術の導入について</p> <p>横浜市におけるエネルギー消費量を部門別にみると、家庭部門が約30%と全国平均（15%）と比較しても大きな割合となっています。生活の基盤である「住まい」「住まい方」の取り組みや工夫は身近でかつ重要な取組みです。スマートな住まい・住まい方プロジェクトの考え方と方向に賛同し、共に取組んでいく課題として認識します。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。</p>
128	<p>P49 第4章 4項 省エネルギーを支える技術の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1段落の後に、「例えば、適切な省エネ設備の導入や改修には、まずは現状把握が重要なファクターとなります。この観点から、現状把握を含めた<省エネ診断技術を活用していくこと>が必要 	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に省エネ診断に関する記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	です」と追記することを提案いたします。		
129	<p>P50 第4章 4項 (2)-2 住宅・建築物の省エネ化 ① 1) ア)エコリノベーション(省エネ改修)の推進 について</p> <p>・既築住宅の省エネ化を推進することに賛成いたします。しかし、記載内容には「より高効率な熱源機器等への更新」が含まれておらず、更新に伴う省エネ効果が大きいことから、併せて記載することを提案します。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。</p>
130	<p>P51 第4章 4項 (2)-2 住宅・建築物の省エネ化 ②横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)の推進 について</p> <p>・現在、再生可能エネルギーの導入について検討することが義務付けられていますが、併せて、住宅・建築物の省エネ化に貢献する機器の検討も項目に加え、コージェネについて建物用途と延べ床面積を特定し検討を義務付ける方法を提案いたします。</p> <p>例えば、熱需要が比較的大きいと考えられる病院、ホテル、介護施設、スポーツクラブ、地域熱供給施設についてコージェネの導入を検討させ、不採用の場合はその理由を報告させることが考えられます。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第4章5まちづくりと一体となった取組において、低炭素まちづくりにおける誘導策の中で検討してまいります。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>
131	<p>P53 第4章 4項 (2)-2 住宅・建築物の省エネ化 ⑤省エネ改修・省エネ設備導入の推進 について</p> <p>・本件の推進に賛成いたします。また、公共建築物は災害発生時に防災拠点として活用する機会が多くなることから、設備改修・導入時には防災機能の強化の視点も併せて含め、検討することを提案</p>	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	いたします。		
132	横浜スマートコミュニティと、次世代郊外まちづくりのスマートコミュニティ推進部会とは全くつながりが無い別の組織なのではないでしょうか？	その他	横浜スマートコミュニティは市内の中小企業等で構成された団体であり、青葉区のみたまプラザ地区における次世代郊外まちづくりのスマートコミュニティ推進部会とは全く別の組織です。
133	<p>既存建物の改修支援</p> <p>新築される建物は、相当高いレベルで省エネが図られている。ここへの支援や規制などを強化するよりも、既存建物の改修、再開発に注力することが大きな効果を上げると思われる。</p>	包含	エネルギーアクションプランにおいても既存建築物の省エネ改修等の対策を進めることは大きな課題としております。いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。
134	<p>第4章</p> <p>50 ページ 省エネ改修の推進</p> <p>地域の区民祭り、区役所と連携した講座等でペアガラス等の設置効果等について積極的に情報提供してきたが、関心を持つ方も多く、下記を提案します。</p> <p>① エコリノベーション協議会の設立での情報が、普及を担う協議会等に届くような仕組みづくり</p> <p>② 住宅用エコポイント制度を活用した積極的な情報提供</p> <p>③ 誘導策としての補助金等の制度(あまり高額でなくてよい)</p> <p>④ 既築マンションの大修繕のおりの取り入れるべき項目の提示</p> <p>(マンション管理組合協会的な所への情報提供や報告制度等)</p>	参考	いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
135	<p>第4章 新技術・新製品開発への支援 55 ページから</p> <p>家庭で捨てられている廃食油を回収・活用したエコオイルの活用に取り組んでいるが、新技術の一環として、賦存量調査など支援する仕組みが必要。</p>	参考	<p>いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
136	<p>まちづくりと一体となった取組</p> <p>大規模災害の発生リスクが高まっているとの報道があります。自立分散型エネルギーの幅広い導入と併せて、街の再生において持続可能なまちづくりの視点を積極的に加えていくことに期待をします。その際に、ぜひ横浜のもつ市民力を活用して市民参画をすすめてください。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第1章の背景などに掲げているところです。いただいたご意見をふまえ、市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。</p>
137	<p>P66 ② 低炭素まちづくりにおける誘導策</p> <p>東日本大震災以降、災害等により電力の供給が途絶えた場合に備えて、自立分散型エネルギーの普及が求められています。そこで、災害時における電源の確保にも役立つ自立分散型エネルギーが広く導入され、自然災害にも強い、低炭素・快適性を備えたまちづくりを進めます。</p> <p>（意見）</p> <p>「電源の確保にも役立つ自立分散型エネルギーが広く導入され、自然災害にも強い、低炭素・・・」とありますが、必ずしも「自立分散型エネルギー」が低炭素につながる場合のみでは無いと考えます。（※十分な廃熱利用が行えない場合など）、</p> <p>（修正案）</p> <p>東日本大震災以降、災害等により電力の供給が途絶えた場合に備えて、自立分散</p>	包含	<p>当該記述は、自立分散型エネルギーの導入による防災性の向上を主眼において表現したものであり、当該記述において、ご意見の趣旨は包含されているものと考えます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	型エネルギーの普及が求められています。そこで、災害時における電源の確保にも役立つ自立分散型エネルギーが広く導入されると共に、再生可能エネルギーを積極的に活用する低炭素・快適性を備えたまちづくりを進めます。		
138	<p>P57 第4章 5項まちづくりと一体となった取組 (1)目指す姿 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー循環都市の実現は、エネルギー環境性の向上や防災性の向上の視点からきわめて重要であり、記載された目指す姿はそれらを実現するための手段を的確かつ具体的に表記しています。この目指す姿に賛成し、実現に向け積極的に協力いたします。 	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、市民・事業者の皆様と協力して、プランを着実に推進してまいります。</p>
139	<p>P58 第4章 5項 (2)-1 ①みなとみらい2050プロジェクトにおけるエネルギー対策の推進 1)、2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載された取組について、大いに賛成いたします。またその具体化に際し、規制緩和や国の補助施策を活用することは元より、関係者に対する行政ならではの調整機能にも期待いたします。 	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、市民・事業者の皆様と協力して、プランを着実に推進してまいります。</p>
140	<p>P65 第4章 5項 (2)-3 ①港のスマート化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート化の施策の2項目目に「コージェネ」を追記し、「太陽光をはじめとする再生可能エネルギーやコージェネ、蓄電池の導入など」とすることを提案いたします。再生可能エネルギーは立地や気象条件等に左右される不安定な一面があるため、補完システムを含めた安定的なシステム構築が必要です。太陽光発電出力変動をコージェネと組み合わせることでシステムを構築することによって電力供給の安定化と多重化を同時に実現することが可能となります。 	参考	<p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
141	<p>P66 第4章 5項 (2)-3 その他の取組 ②低炭素まちづくりにおける誘導策 について</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終段落において、「自立分散型エネルギーの導入促進や省エネ・創エネ設備等の導入による環境性能の高い建築物を誘導する為、環境対策への取組を表かすような制度の検討を進める」方向性について賛同いたします。その具体的な方法などについては、是非とも早期に開示されますことを希望します。 	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、市民・事業者の皆様と協力して、プランを着実に推進してまいります。</p>
142	<p>P62 第4章 (2)-2 郊外部のまちづくりにおける取組 ①持続可能な住宅地モデルプロジェクト等における郊外部での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 「このプロジェクトを推進する中で、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入促進といったエネルギーの取組を進めていきます。」の記載については、上位での取組みや方向性を踏まえ、「省エネルギー・創エネルギー機器の導入促進や再生可能エネルギー、自立分散型電源（コージェネ）の導入促進」あるいは、「省エネルギー・創エネルギー機器の導入促進や再生可能エネルギー等の導入促進」と修正することを提案します。 また、設備面での導入促進だけでなく、P6 第1章 (1) ①や第5章の記載を鑑み、この項目にハード面だけでなく、ソフト面での記載、例えば、「モデルプロジェクト等の中で、省エネ、創エネについての市民への情報発信を積極的に行います。」といった、意識啓発の取組みについても追記することを提案します。 	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、情報発信の記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
143	省エネ、再エネの普及は面的整備にあわせて検討することが促進策の一つ。工事費高騰の局面もあり事業推進の難易度が増している環境では、時限的な規制緩和や補助金の創設もあわせて検討いただきたい。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章の低炭素まちづくりにおける誘導策の記載に規制緩和の視点に関する記述を加えました。
144	エネルギーモデル地区をみなとみらいに定め、先進的な取り組みを実現し街毎PR化する。促進のための足かせがコスト要因の為、促進させる為の容積緩和を充実させる。建物形状、設備等新しいアイデア実現に誘導。また昼夜人口バランスを平準化させることで、街全体の効率性を高める。	包含	いただいたご意見の趣旨は、第4章のまちづくりと一体となった取組みに包含されています。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。
145	都心部の開発における自立分散型エネルギー利用 <ul style="list-style-type: none"> ・CGS などを中心としたシステムでは、排熱利用がどれだけできるかが最大のポイントとなる。 ・開発において導入する際に、送電線や熱導管の敷設が大きな課題となるため、既存インフラとの調整に関し、行政の支援を期待したい。（道路横断、共同溝利用など） 	賛同	アクションプランにおいても既存インフラと調整を記載しています。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。
146	第4章 郊外部のまちづくりにおける取組 62 ページから 青葉区、緑区、磯子区等における取組の他地域への広報 それぞれ素晴らしい取組であるようではあるが、その内容がほとんど伝わってこない。 他地域でも取り入れる事による効果が大きいようであれば、それらを発信する仕組みづくりが必要ではないか。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章などにわかりやすく情報発信する旨の記述を加えました。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
147	<p>◇まちづくりと一体となった取組について(みなとみらい 2050 プロジェクトの推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜都心臨海部の防災性向上をはかる中で、みなとみらい21地区は、周辺地区のサポート機能を果たすという位置づけになっている。上記位置づけの中、みなとみらい21地区のライフライン（共同溝やDHC）の強化や、自立電源の設置等エリアのBCP対策及び早期実現を目指していただきたい。 ・優先順位を勘案しながら、早期整備が必要な機能・施設は2020年のオリンピック・パラリンピックまでの供用開始を目指していただきたい。例えば、新交通機能（低炭素型次世代交通）を早期に実用化し、みなとみらい21地区内の利便性・回遊性向上を図っていただきたい。 ・横浜都心臨海部のまちづくりは極めて重要だと考えている。横浜都心臨海部再生マスタープランの中にも横浜都心臨海部の将来像・まちづくりの戦略が策定されているため、オール横浜市で部局横断的にまちづくりに取り組んでいただきたい。 	賛同	エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。

◇第5章 市民・事業者の取組促進

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
148	<p>市民・事業者の取組促進について 「もっと知り、もっとやってみる」「もっと仲間を増やし、つながる」ことの後押しに特に力を入れていくことを支持し、取組促進の結び目となっていきます。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。</p>
149	<p>昨日、地温・横浜地区会議で、貴部・部長様のお話を聴く機会がありまして、アイデアを一般募集されていたのを知り、ご高覧下さるようここに弊案を提案します。</p> <p>省エネ関連機器購入にポイント制度の導入です。</p> <p>ポイント価値の一部を、市（予算）が負担するというもので、奨励金の意味合いです。</p> <p>対象とする省エネ関連機器 家電品(照明、冷蔵庫、エアコン、・・・)の買い替え、自動車(電気自動車((HV, PHV, EV,燃料電池車))、ジーゼル車)、太陽光発電装置等自然エネルギー機器、エコキュート、エコジョーズ、エネファーム、・・・</p> <p>省エネは、範囲を広げるのが、手堅いと思います。</p> <p>準備（事務局サイド）には相当の期間、負荷が発生すると思いますが、思い切って他の自治体に先んじて、やる価値はあるように思われます。ポイントも、価格比例と言う一律性ではなく、製品に重みを付けて、市の意志をそこに表わすという工夫もあるのではないのでしょうか。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章において、補助やポイント制度に関する記述を加えました。</p>
150	<p>補助金の申請方法（記入方法のアドバイス）の講座があるといいと思う。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章において、国の補助金に関する記載を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
151	一般市民向けには、投資のいらない省エネ方法を広報紙やパンフレット等でお知らせしてはどうか。	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章において、投資に関する記載を加えました。
152	<p>通読するかぎりアクションプランに引用されている実証速報のようなさまざまな情報が発信されているのですが、実際のところ市井の片隅まで到達するものは大変少ないと感じています。市民個々が理解を深め行動に移行するためにはより多くの知識と情報が必要です。75 ページの地域活動団体の存在は地域住民に毛細血管のごとく浸透するためには大変有効な組織であることはG30、3R夢で認識しています。但し私の知る限りにおいてはその大半が世代交代が遅れ気味であり、後継者不足による組織活動の硬直化を感じます。この現象は市民意識の変化による地域活動団体への加盟者の減少ともリンクし近い将来その活動の停滞化につながりかねません。</p> <p>経験、体力、知識と時間的余裕をもった団塊の世代を中心にした、より自由で闊達な地域活動団体の活性化が本オペレーションの160万世帯への浸透に大いに寄与すると信じます。</p>	参考	計画を着実に推進し、進捗に関する適切な広報を進めてまいります。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
153	<p>第5章 （3）取組促進に向けた主要施策</p> <p>主要施策においては教育、普及啓発に力を入れていることがよく伝わってきますが、実際に市民や、事業者が取り組むにあたって制度的な面、金銭的な面で、後押しをできる様な仕組みについても取り組んでいただけるとより促進されるのではないかと思います。</p>	包含	いただいたご意見の趣旨は、第5章の仕組・プラットフォームづくりに掲げているところです。いただいたご意見をふまえ、プランを着実に推進してまいります。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
154	家庭で出来る省エネ講座の開催をしてほしい。	包含	いただいたご意見の趣旨は、第5章3取組促進に向けた主要施策において、掲げているところです。いただいたご意見をふまえ、プランを着実に推進してまいります。
155	<p>P 8 3 (1) 市民の実践行動 【中項目】</p> <p>●再生可能エネルギー等の選択への追記 (意見)</p> <p>市民の実践行動における再生可能エネルギー等の選択とした具体的取組として、より効果を求めるには「自立分散型エネルギーの導入」に特化するものではないと考えます。</p> <p>再生可能エネルギーとは「エネルギー源として永続的に利用することができる」と認められるものとして、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱および大気中の熱、その他の自然界に存する熱」となっております。【資源エネルギー庁HPより引用】</p> <p>また、この再生可能エネルギーである「大気熱」を利用した家庭用自然冷媒CO₂ヒートポンプ給湯器は、家中のお湯をまかなう給湯器として、1の投入エネルギーに対して約3倍の熱エネルギーを得ることが出来るため省エネ効果が高まります。</p> <p>(修正案)</p> <p>【中項目】にて</p> <p>●再生可能エネルギー等の選択 具体的取組追記</p> <p>◆ 家庭用自然冷媒CO₂ヒートポンプ給湯器（エコキュート）の導入</p>	反映	いただいたご意見の趣旨を反映し、当該記述を修正しました。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	<p>再生可能エネルギーである「空気の熱」を利用して家中のお湯をまかなう家庭用自然冷媒 CO2 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）を使うと、1の投入エネルギーに対して3倍の熱エネルギーを得ることが出来るため省エネ効果が高まります。</p>		
156	<p>P 8 6（2）事業者の実践行動 ●再生可能エネルギー等の選択の具体的取組</p> <p>◆コージェネレーションシステムの導入</p> <p>電力と熱・給湯の両方の需要がある事業所はコージェネレーションシステムを導入し、省エネに努めましょう。</p> <p>蓄電池も併せて導入することにより、システム運用の柔軟性が高まります。</p> <p>（意見）</p> <p>コージェネレーションシステムは、電力と熱・給湯の両方が同時に消費される需要に限られ、発電に伴う排熱の有効利用となった場合はエネルギー効率の高い運用となります。一方、この熱を利用しきれずモノジェネレーションとなるケースもあるので発電による排熱（蒸気や温水）の利用を表記することが望ましいと思います。</p> <p>（修正案）</p> <p>◆コージェネレーションシステムの導入</p> <p>電力と熱・給湯の両方の需要があり、蒸気や温水の排熱を有効利用出来る事業所はコージェネレーションシステムを導入し、省エネに努めましょう。</p> <p>蓄電池も併せて導入することにより、システム運用の柔軟性が高まります。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、素案で表現されているものと考えます。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
157	<p>今までにない具体的で住民参加も可能な「アクションプラン」の説明を聞きました。</p> <p>その中で、より多くの住民参加ができることに絞ってみます。</p> <p>1. 「環境(省エネ)家計簿」を軸として徹底して広める。</p> <p>HEMSで15%の削減効果が実験で確認されましたが、「環境家計簿」を付けることだけで、15～18%の削減効果ができることを学んでいます。そして環境家計簿をつけることによって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HEMSの効果 ・省エネ家電の買い替え効果 ・太陽光発電、エコファームの素晴らしさが数値的に把握され、広がりを見せていくと考えます。 <p>そのために東京電力・東京ガスの推移グラフの分析(企業も参加)、横浜市が実施している環境家計簿を地域活動団体(自治会)に根付くことを工夫すべきと考える。(戸塚区川上地区)各区のまちづくりの一環として「環境家計簿」からスタートできると思う。</p> <p>2. それを実施する推進員(NPO)の養成講座</p> <p>前項を本当に根付かせるためには、意識を持った活動家が求められるが、現在、市の活動員が高齢化・長年の疲労感が溜まり、今、ようやく前向きな横浜市の施策についていけない現象が出てきている。</p> <p>そのために新しい形で、若返りも図る「エコライフアドバイザー」養成講座を毎年開設することが必要と思われる。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章に人材育成の記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
158	<p>第5章68ページ～86ページ</p> <p>この章で述べられている点に全面的に同意します。特に、市民が毎日の自分の生活行動にどのような環境とのつながりがあるか考える、言い換えると、目に見える負荷と目に見えない負荷を考えながら生活する方向に社会が変化しないと、地域や国全体として持続可能な社会へ転換することは極めて難しいと考えます。68ページや72ページに記載されている、こんなことが省エネになったり環境負荷を低減する効果がある、という点に、広報や教育の一つの重要性を感じています。可能な限り多くの関与者が交流することで横浜市などの環境の現状や今後の対策などの情報、特にこのような見えない負荷や省エネに関する情報を共有し、その交流を通じてそれぞれの立場で何ができるかを学び行動に移すことが必要だと考えます。そのために、私個人としては教育啓発活動とその効果の研究を継続して実施しますが、自治体としても、より多くの市民が交流する場や教育の機会を提供して欲しいと期待します。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。ヨコハマ・エコ・スクール（YES）の活動などをおおして、引き続き、交流の場を提供してまいります。</p>
159	<p>「クールシェア」 図書館・プールといった箱モノだけではなく 公園や街路樹の樹種を落葉樹にして、夏は日差しを遮る庇となり、冬は落葉する事によって、市民の温熱環境に役立てる。その為にも街路樹のある歩道は、電信柱を地下埋設型に変更する。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第4章に緑化や雨水利用による省エネ推進の記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
160	<p>市民の取り組み促進策</p> <p>学校での環境教育を実効あるものに。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境教育を全学年で必修科目に。横浜市民としての基礎とするため。 ・学校から家庭、地域への環境・省エネ意識の定着化と省エネ効果拡大を。 <p>実効化のためトレースが必要。そのための仕組み作りを。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このために専門家（NPO等も）を活用する予算を。 <p>現在の市立校でのカリキュラムでは充分ではなく、教師は多忙（内容は疑義がある）のため多くは熱心ではない。また、多くの教師は十分な環境教育を受けていないため。</p>	包含	<p>いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組促進に向けた主要施策に包含されています。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>
161	<p>P77 第5章 3市民向けの・・・市民向けの主要施策</p> <p>自治会町内会等への組織づくり</p> <p>市民ができる省エネは戸塚区川上地区連合町内会や磯子区の取り組みのように地域で組織として取組ことが重要です。区民まつり等でいくら普及啓発しても大きな効果は期待できません。一般市民を地域で組織の中に取り込んでではじめて大きな力になると思っております。</p> <p>区の推進組織があるようですが今のところ市民と連携した動きが見えていません。この組織をフル活用して自治会町内会や連合町内会と一体となった組織づくりを強力に推進して家庭での省エネを実践できるようにすることが重要です。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章に役割分担に関する記述を加えました。</p>
162	<p>P.77</p> <p>市民、市民グループによる再生可能エネルギーを活用した発電プロジェクト（いわゆる「市民発電所」「ご当地電</p>	その他	<p>市民発電所等の支援につきましては、今後、検討を進めてまいります。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	力」)の立ち上げ、実施を支援します。 とありますが、実際にどのような支援が頂けるのでしょうか？		
163	68ページから74ページの書き方(市民目線的な)はなかなかよいが、72ページに出てくる人の絵がきもい。	賛同	第5章の「取組を促進するために大切なこと」を評価いただきありがとうございます。
164	主に「5 市民・事業者の取組み促進」について、こちらはみなとみらい2050プロジェクトにも書かせていただきましたが、「興味の無い人、薄い人」への表現・伝達についての工夫・意識が重要だと思います。	反映	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、第5章に興味がない人も含めて取組の輪を広げる旨の記述を加えました。
165	第5章 市民・事業者の取組 ■提案 家庭での省エネルギーの推進 太陽光発電独立型電源で、自分の部屋の照明。テレビ、ラジオ、パソコン 電動自転車の充電等 50W で十分である・ もう少し省エネの視点で太陽光発電独立型電源の普及を位置づけはどうか 地域の消費生活課、町内会との連携が必要	反映	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、第5章に独立型太陽光発電に関する記述を加えました。
166	第5章 市民・事業者の取組 ■提案 環境家計簿の実施 NPO などの実施する市民向けのあらゆる事業で関係家計簿の取組を位置づけ、集計して省エネの数値の把握につなげる ■提案 省エネ機器への積極的買い替え 具体的にどの位省エネになり、家計費も減るかを提示して、買い替えを積極的に	包含	いただいたご意見の趣旨は、第5章の取組促進に向けた主要施策に含まれているところです。いただいたご意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	推進する		
167	<p>第5章 （3）取組促進に向けた主要施策</p> <p>横浜市は、家庭の二酸化炭素の排出割合が大きく、環境教育、普及啓発が重要でありその位置づけが書かれており賛同できる。</p> <p>市民や、事業者が取り組むにあたって制度的な面、金銭的な面で、後押しをできる様な仕組みについても取り組んでいただけるとより促進されるのではないかと思います。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、市民・事業者の皆様と協力してプランを着実に推進してまいります。いただいたご意見は、今後の取組の検討の参考とさせていただきます。</p>
168	<p>第5章 2</p> <p>取組促進に向けた連携体制</p> <p>地球温暖化対策は危急の課題であり、一部の熱心な人たちだけの取組では乗り越えられない問題である。</p> <p>市民が一番取組やすい省エネルギー等については、広く地域に広げて行くことが大事である。</p> <p>そのためには、区役所や区地球温暖化対策推進組織、自治会・町内会との連携が重要である。</p> <p>75 ページに書かれているような区役所町内会が連携できるようなプラットフォームの構築が必要である。</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章に役割分担に関する記述を加えました。</p>
169	<p>◇その他</p> <p>・「横浜市エネルギーアクションプラン」を達成すべく、行政側から更なるサポートをし、事業者が取り組みやすい環境を整備していただきたい。</p>	賛同	<p>ありがとうございます。エネルギーアクションプランに対するご期待と捉え、プランを着実に推進してまいります。</p>
170	<p>第4章 37 ページ～75 ページ</p> <p>提案</p> <p>省エネルギーが一番効果的であるが、なかなか市民に伝わらない。</p> <p>実施した市民に効果的なインセンティブを見つけて参加を呼びかけできない</p>	反映	<p>いただいたご意見の趣旨を反映し、第5章において、補助やポイント制度に関する記述を加えました。</p>

No.	ご意見（要旨）	分類	本市の考え方
	だろうか。		